

# 川崎市地球温暖化対策推進計画

## 年次報告書

2012

## 詳細資料



川崎市

平成 25 年 12 月 発行 / 川崎市 編集 / 環境局地球環境推進室

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町 1 番地 電話 : 044-200-2405 FAX : 044-200-3921

URL : <http://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/29-4-7-4-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

# 目次

## 第1章 施策ごとの実施状況

### 1 重点プロジェクトごとの事務事業

- (1) 低炭素都市推進プロジェクト・・・・・・・・・・2
- (2) 地域行動推進プロジェクト・・・・・・・・・・5
- (3) 国際貢献推進プロジェクト・・・・・・・・・・8
- (4) 市の率先行動推進プロジェクト・・・・・・・・11

### 2 基本施策ごとの事務事業

- I 事業活動における温室効果ガス排出量の削減の推進・・14
- II 市民生活における温室効果ガス排出量の削減の推進・・18
- III 再生可能エネルギー源等の利用・・・・・・・・・・23
- IV 低炭素都市づくりの推進・・・・・・・・・・26
- V 循環型社会の形成の推進・・・・・・・・・・28
- VI 交通における地球温暖化対策の推進・・・・・・・・33
- VII 地球環境に係る環境教育・環境学習の推進・・・・39
- VIII 緑の保全及び緑化の推進・・・・・・・・・・42
- IX ヒートアイランド対策の推進・・・・・・・・・・48
- X 環境技術による国際貢献の推進・・・・・・・・・・50
- XI 環境技術の研究開発等の推進・・・・・・・・・・54
- XII 市役所の率先取組の推進・・・・・・・・・・56

## 第2章 電力需給対策について・・・・・・・・・・62

# 第1章 施策ごとの実施状況

## 1 重点プロジェクトごとの事務事業

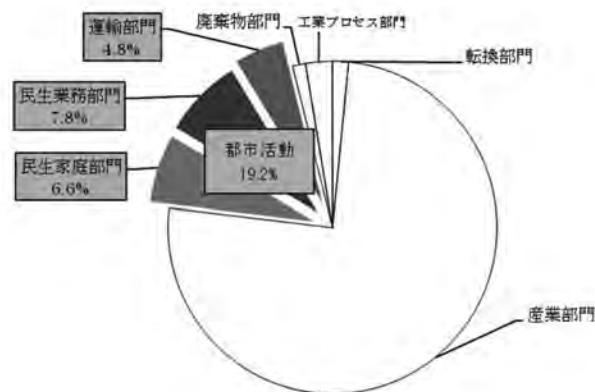
### (1) 低炭素都市推進プロジェクト

#### 【現状と課題】

本市の都市構造をみると、人口密度は9,970人/km<sup>2</sup>(2012年10月1日現在)となっており、また、広域拠点である小杉駅周辺地区では、高層建築物の建設が進められ、集約型のまちづくりが進められています。

本市の二酸化炭素排出量のうち、都市における社会経済活動に起因することが大きい民生部門（家庭系）やオフィス・商業系の民生部門（業務系）、自動車等の運輸部門における排出量が全体の約2割を占めています。民生部門をはじめとして、都市活動にかかる二酸化炭素排出量は基準年（1990年度）に比べ増加傾向にあり、また、将来人口推計によると本市の人口は2030年まで増加することが予想されています。高齢化社会への対応も含め、誰もが暮らしやすい持続可能なまちづくりを進めていくことが重要であることから、中長期的な視点に立ち、関連施策と連携しながら、「コンパクト化」や「エコ化」などに配慮したまちづくりを進めていく必要があります。

市内二酸化炭素排出量と都市活動の関係（2010年度暫定値）



#### 【実施計画第1期間の主な取組と2012年度の実施状況】

##### 【実施計画第1期間の主な取組】

◇川崎市温暖化対策庁内推進本部に低炭素都市推進部会を設置し、本市の低炭素都市づくりの基本的な考え方や具体的な施策を検討する。【環：地球環境推進室】

市長を本部長とする川崎市温暖化対策庁内推進本部に設置した低炭素都市推進部会について、部会の検討事項等の再整理及び構成員の見直しを行うとともに、市域内の温室効果ガス排出量の状況把握と更なる推進方策の検討や低炭素都市の推進に資する取組に関する検討等を行いました。

【実施計画第1期間の主な取組】

◇二酸化炭素をほとんど排出しない再生可能エネルギーの普及に向けて、啓発効果の高い公共施設への再生可能エネルギー利用設備の導入を進めるとともに、住宅用太陽光発電設備の補助や太陽熱など他の再生可能エネルギーの普及に向けた取組の検討を行う。【環：地球環境推進室】

公共施設における再生可能エネルギーの導入・利用状況調査を実施し、2012年度末現在で太陽光発電設備が70施設に821kW、マイクロ風力発電が1施設に12kW、小水力発電が3施設に267kWの導入を確認しました。2012年度では、1kW以上の太陽光発電設備が学校等5か所に導入されました。また、住宅用太陽光発電設備設置補助については、個人住宅1,045件（約3,925kW）、共同住宅27件（約185kW）の補助を行うとともに、住宅用太陽熱利用設備設置補助制度について、16件の補助を行いました。

【実施計画第1期間の主な取組】

◇次世代エネルギーとして期待される技術の活用に向け、エネルギー利用の効率化をめざしたスマートシティモデル事業を推進する。【企：スマートシティ戦略室】

低炭素社会の実現と市民の利便性・快適性の向上や安全・安心の確保などを目指し、環境先進都市である川崎の特徴や強みを活かしながら、エネルギーマネジメントなどを実現するスマートシティを構築するため、基本的な考え方をスマートシティ構想（素案）及びモデル事業等の取組の方向性に反映しました。また、各モデル事業（川崎駅周辺地区・富士見周辺地区実施）の実施に向けて、取組の方向性の検討・取りまとめを行うとともに、新たなモデル事業として、臨海部地域や小杉駅周辺地区における取組について検討しました。

【実施計画第1期間の主な取組】

◇環境負荷の低減や高齢化社会などに配慮し、交通環境の変化等を踏まえ、将来における交通需要や総合的な交通体系に関する課題等の把握・検討を行い、総合都市交通計画の策定に向けた取組を進める。【ま：交通政策室】

前年度までの「川崎市総合都市交通計画検討委員会」での議論を踏まえ、2012年5月に本計画の骨子を中間とりまとめとして公表しました。また、6月から市民意見を募集（1か月間）するとともに、7月に市民説明会を市内3会場で行いました。

「川崎市総合都市交通計画検討委員会」での計7回に渡る議論を経て計画案を取りまとめ、2013年2月からのパブリックコメント手続や市内3会場での市民説明会における意見を踏まえ、2013年3月に「川崎市総合都市交通計画」を策定しました。

## 【具体的な事業と2012年度の実施状況】

事業名	2012年度計画	2012年度実績
地球温暖化対策事業 [環：地球環境推進室]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●開発事業地球温暖化対策計画書制度の運用</li> <li>●低炭素都市づくり方針の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●計画書提出件数：3件</li> <li>●低炭素都市推進部会の検討事項等を再整理し、低炭素都市の推進に資する取組に関する検討等を実施</li> </ul>
再生可能エネルギー推進事業 (スマートシティ戦略事業) 【企：スマートシティ戦略室】 (環境エネルギー推進事業) [環：地球環境推進室]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スマートシティモデル事業の推進</li> <li>●家庭用太陽光発電設備の補助の実施</li> <li>●太陽熱など、他の再生可能エネルギーの普及に向けた取組の推進</li> <li>●公共施設における再生可能エネルギー利用設備の導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スマートシティを構築するため、基本的な考え方をスマートシティ構想(素案)及びモデル事業等の取組の方向性に反映 各モデル事業(川崎駅周辺地区・富士見周辺地区実施)の実施に向けて、取組の方向性の検討・取りまとめを実施 新たなモデル事業として、臨海部地域や小杉駅周辺地区における取組について検討</li> <li>●住宅用太陽光発電設備設置補助 補助件数 総計：1,072件(約4,110kW) &lt;内訳&gt;個人住宅 1,045件(約3,925kW) 共同住宅 27件(約185kW)</li> <li>●住宅用太陽熱利用設備設置補助 補助件数：16件</li> <li>●公共施設への導入状況 □太陽光発電設備(1kW以上)：5か所 ・かわさき新産業創造センター新館(NANOBIIC) (30kW) ・百合丘小学校(10kW) ・旭町小学校(10kW) ・東菅小学校(10kW) ・川中島小学校(10kW)</li> </ul>
総合的な交通体系調査事業 [ま：交通政策室]	●総合都市交通計画の検討・策定	●2013年3月に「川崎市総合都市交通計画」を策定

### 【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012年度実績
環境影響評価・環境調査事業 [環：環境評価室]	環境影響評価項目に温室効果ガス、環境配慮項目に地球温暖化及びエネルギーを位置づけている環境影響評価制度を的確に運用する。	指定開発行為等の届出6件、環境影響評価図書の公告・縦覧31件、審査書の公告8件、市長意見の公表1件
建築物環境配慮推進事業 [ま：建築指導課]	建築物環境配慮制度(CASBEE川崎)を運用し、地球環境にやさしい建築物の普及促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物環境計画書 提出件数：82件</li> <li>・建築物環境配慮制度対象規模変更の説明会実施</li> </ul>
地域地区等計画策定・推進事業 [ま：都市計画課]	市民の意見や関係権利者の合意を踏まえながら、地区計画や防火地域の指定など、地域地区等の決定・変更等を行う。また、環境配慮のまちづくり誘導制度等の調査・検討を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域地区・地区計画等検討調査・都市計画決定</li> <li>・環境配慮のまちづくり誘導制度等の素案の作成</li> </ul>

## (2) 地域行動推進プロジェクト

### 【現状と課題】

温室効果ガスはあらゆる主体から排出されるものであることから、各主体がそれぞれの役割に応じて削減するとともに、多様な主体の協働により、地域での取組を進めていく必要があります。

140万を超える人口を抱える本市にとって、市民一人ひとりに働きかけていくには、課題もありますが、市民意識の高揚を図り、市民生活におけるエネルギー使用量の削減行動などを促していく必要があります。

低炭素社会及び循環型社会の構築等の観点から、3R（リデュース、リユース、リサイクル）を進め、焼却対象ごみを極力削減していく必要があります。とりわけ、分別収集を開始したミックスペーパーとプラスチック製容器包装について、収集量が増加し、資源化が進むよう、継続した普及広報に取り組んでいく必要があります。

CCかわさき“エコ暮らし”に取り組むとともにCCかわさき交流コーナーを利用した普及啓発など川崎市地球温暖化防止活動推進センター（以下「地域センター」という。）を活用することで、市民の環境配慮型ライフスタイル構築などに結びつける必要があります。



CCかわさき交流コーナー

### 【実施計画第1期間の主な取組と2012年度の実施状況】

#### 【実施計画第1期間の主な取組】

◇家庭部門からの二酸化炭素排出量の削減のため、高津市民館に開設したCCかわさき交流コーナーを利用した普及啓発など地域センターを活用した取組を進めるとともに、地域に密着した温暖化対策の推進リーダーとしての活動が期待される川崎市地球温暖化防止活動推進員（以下「推進員」という。）による普及啓発活動などを促す。【環：地球環境推進室】

2011年1月に高津市民館内に設置した「CCかわさき交流コーナー」で毎月のテーマを定めたパネル展示やミニ講座の実施等の情報発信に取り組んだほか、町内会・自治会等での学習会の開催やイベントへの出展等により節電・省エネの普及啓発を進めました。

2011年4月から「川崎市地球温暖化防止活動推進員制度」を開始し、2012年度においては第2期77名の推進員を委嘱しました。推進員は地域に密着した温暖化対策の推進リーダーとして、環境イベントへの出展やCCかわさき交流コーナーのテーマ展示・ミニ講座、小学校への出前講座等を通じて温暖化対策の普及啓発を行いました。

【実施計画第1期間の主な取組】

◇大規模太陽光発電所の整備を推進するとともに、隣接する環境学習施設「(仮称)かわさきエコ暮らし未来館」(愛称:CCかわさき館)を開設し、再生可能エネルギーの利用をはじめとする地球温暖化対策に関する普及啓発に取り組む。【環:地球環境推進室】

川崎大規模太陽光発電所は運転開始1年を経過し、浮島は当初想定の1.3倍(約945万kWh)、扇島は当初想定の1.1倍(約1,510万kWh)の発電量を記録するなど、順調に稼働しました。

かわさきエコ暮らし未来館には開館以来約35,000人の来館者をむかえ、市内の再生可能エネルギー等関連施設を有機的に連携させ、最先端の環境エネルギー技術のショーケースとして広く情報発信を行う「CCかわさきエネルギーパーク」の中心的な啓発施設として環境教育・環境学習を推進しています。国内最大級の大規模太陽光発電所の見学ツアー、エコを学ぶ講座なども行っており、再生可能エネルギーや地球温暖化防止に向けた取組を、体験しながら学ぶ事ができます。

【実施計画第1期間の主な取組】

◇資源化量の増加に向け、ミックスペーパーの分別収集の全市実施やプラスチック製容器包装分別収集の南部3区(川崎区、幸区、中原区)実施後のフォローアップ広報に取り組む。【環:減量推進課】

啓発用リーフレットの配布、具体例や排出方法などをわかりやすく記載した表示ボードのごみ集積所への掲出など、フォローアップ広報の充実に取り組むとともに、廃棄物減量指導員等の方々との連携を図り、集積所で排出指導を行いました。

【実施計画第1期間の主な取組】

◇2013年度にプラスチック製容器包装の分別収集を全市で実施する。【環:収集計画課】

プラスチック製容器包装収集運搬業務について、南部地域は委託を更新し、北部地域は2013年度中の委託化に向けて、契約手続の準備・調整を行いました。

【具体的な事業と2012年度の実施状況】

事業名	2012年度計画	2012年度実績
協働による地球環境配慮の推進 [環：地球環境推進室]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●川崎市地球温暖化防止活動推進センターを核とした協働の取組の推進</li> <li>●川崎市地球温暖化防止活動推進員の委嘱、推進員による温暖化防止活動の促進</li> <li>●CCかわさき交流コーナーでの普及啓発活動の実施</li> <li>●CC川崎エコ会議を通じたネットワーク形成や情報発信の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●町内会・自治会等での省エネ・節電学習会の実施、環境イベントへの出展</li> <li>●川崎市地球温暖化防止活動推進員制度を開始し、77名を委嘱 推進員を中心とした実践活動プロジェクト等を通じた出前講座の実施や環境イベントへの出展</li> <li>●CCかわさき交流コーナーにおけるテーマ展示（毎月）、ミニ講座等の実施（月1回） 夏休みの自由研究相談と講座の実施（12回）</li> <li>●シンポジウムの開催（11/22、100名参加） 国際環境技術展2013への出展 国際環境技術展2013における会場内エコ暮らしツアーの実施（4回、参加者35名） 「スマートライフスタイル大賞」制度の創設（大賞2件・優秀賞4件・奨励賞9件） CC等タカエコ暮らしこフェアの開催（6/23、来場者：14,000人）</li> </ul>
再生可能エネルギー推進事業 （環境エネルギー推進事業） [環：地球環境推進室]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「かわさきエコ暮らし未来館」の運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●累計来館者：約35,000人</li> <li>●環境教室の開催：5回</li> </ul>
普及広報活動事業 [環：減量推進課]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ごみの分け方・出し方リーフレットの全戸配布</li> <li>●出前ごみスクール、ふれあい出張講座の開催</li> <li>●ミックスペーパー分別収集の全市実施後のフォローアップ広報の実施</li> <li>●プラスチック製容器包装の分別収集全市実施に向けた広報の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●資源物とごみの分け方・出し方作成部数：800,000部 （保存版800,000部）</li> <li>●出前ごみスクール：122回 ふれあい出張講座：66回</li> <li>●ミックス・プラ分別収集啓発資料の作成数 ・ミックス・プラ啓発チラシ：280,000枚 ・集積所表示ボード：5,000枚</li> <li>●広報の実施 ・集積所等53回 ・区役所等119回</li> </ul>
分別収集事業 [環：収集計画課]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●空き缶・空き瓶・ペットボトル・小物金属・ミックスペーパー・使用済み乾電池の分別収集の実施</li> <li>●プラスチック製容器包装分別収集の南部3区（川崎区、幸区、中原区）実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●分別収集量（回収量） ・空き缶：7,304トン/年（-8トン） ・空きびん：11,653トン/年（+76トン） ・ペットボトル：5,103トン/年（-64トン） ・小物金属：2,692トン/年（+57トン） ・ミックスペーパー：10,662トン/年（+44トン） ・古紙：108トン/年（+10トン） ・使用済み乾電池：245トン/年（-50トン）</li> <li>●2011年3月からプラスチック製容器包装分別収集の南部3区（川崎区、幸区、中原区）実施 分別収集量（回収量） ・プラスチック製容器包装：3,811トン/年（-85トン）</li> </ul>



### (3) 国際貢献推進プロジェクト

#### 【現状と課題】

世界的な課題となっている地球温暖化の問題を解決していくには、地球全体で考え、地域で出来ることから対応を進めていくことが求められています。

ライフサイクル全体での二酸化炭素を削減する製品等を認定する低CO<sub>2</sub>川崎ブランドの取組を推進することや、地球温暖化対策推進条例に基づく事業活動地球温暖化対策計画書・報告書制度を活用した大規模事業者の温室効果ガス排出量の削減の取組の促進、中小規模事業者の温室効果ガス排出量削減に向けた促進策を展開することなどにより、市内の温室効果ガス排出量を削減するとともに、本市に培われている優れた環境技術・製品を活用し、地球全体での温室効果ガス削減に貢献していく必要があります。

本市に培われている優れた環境技術・製品や環境問題に取り組んだ経験・ノウハウの海外移転を促進することで、世界をリードする環境技術先進都市として地球全体の環境問題の解決に取り組んでいく必要があります。

また、環境問題を解決していくためには現状に関する実践的な調査研究が不可欠であり、その結果を施策・事業にフィードバックし、計画的・科学的に環境施策を推進する必要があります。

こうした特徴・強みを活かした取組や研究開発の成果により国際貢献に取り組むとともに、その取組を国内外に情報発信して対外的にアピールしていくことも有効です。

#### 【実施計画第1期間の主な取組と2012年度の実施状況】

##### 【実施計画第1期間の主な取組】

◇本市の特徴・強みである環境技術を活用した地球温暖化対策の推進に向けて、「低CO<sub>2</sub>川崎ブランド」事業を推進し、地球全体での温室効果ガス削減に貢献していく。【環：地球環境推進室】

低炭素社会の構築につながるものづくり等を応援するため、ライフサイクル全体でCO<sub>2</sub>削減に貢献している製品・技術等を評価する「低CO<sub>2</sub>川崎ブランド」を2012年度から本格実施し、10件の製品・技術等を認定するとともに、特に優れたものを「低CO<sub>2</sub>川崎ブランド大賞」として選定しました。また、認定製品・技術等について、川崎国際環境技術展やエコプロダクツ展などを通じて広報を行いました。

市内事業者の環境技術が市域外で温室効果ガスの排出削減に貢献する量（域外貢献量）を「見える化」し、企業が市場で適切に評価される仕組みである「川崎メカニズム」を構築しました。2011年度の本市における域外貢献量を推計した結果、1,330千トンCO<sub>2</sub>となりました。これは、市の削減目標の基準年度である1990年度の市域の温室効果ガス排出量29,220千トンCO<sub>2</sub>に対して、4.6%に相当する量となります。

【実施計画第 1 期間の主な取組】

◇環境技術の分野において、高いポテンシャルを有する川崎の取組を広く内外に向けて紹介し、環境技術や施策の情報提供を通じた国際貢献を行うため、UNEP プロジェクトへの協力・支援を行う。【環：環境総合研究所】

UNEP と連携した「アジア・太平洋エコビジネスフォーラム」の開催や、友好都市である中国瀋陽市をはじめ海外からの視察・研修の受け入れなど市内企業の優れた環境技術や本市の環境保全の経験を活かした国際貢献を進めました。

【実施計画第 1 期間の主な取組】

◇環境施策を計画的・科学的に推進するため、殿町 3 丁目に環境総合研究所を整備し、外部機関や企業等と連携しながら、環境技術による国際貢献をはじめ、環境に関する総合的な研究を進める。【環：環境総合研究所】

川崎市環境総合研究所を、2013 年 2 月 1 日に、川崎区殿町 3 丁目の国際戦略拠点「キングスカイフロント」の中核施設、川崎生命科学・環境研究センター「L i S E」(ライス) 内に開設しました。

地域の環境改善と環境汚染防止のための監視・調査・研究に加えて、川崎の優れた環境技術による国際貢献の推進や、環境技術情報の収集と発信などを行うほか、都市と産業の共生を目指した研究に取り組むなど、外部研究機関や企業と幅広く連携しながら、環境に関する総合的な研究を推進しており、その一環として、2012 年度には 6 件の産学公民連携による共同研究事業を行いました。また、多様な主体と連携した環境教育・学習の実施などを通じて、広く市民の方々にも参画をしていただくことも計画しています。

【実施計画第 1 期間の主な取組】

◇国際的なビジネスマッチングの場としての「川崎国際環境技術展」を開催し、環境技術を情報発信するとともに、海外への環境技術の移転の取組を強化し、国際貢献と市内産業の活性化を図る。【経：国際経済推進室】

「川崎国際環境技術展 2013」を開催し、145 団体、242 ブースの出展と、海外参加者を含め 15,200 名の来場があり、市内環境産業の国内外への情報発信や国際的ビジネスマッチングの場の提供を行い、海外への環境技術の移転に向けた取組が進展しました。また、過去に川崎国際環境技術展に出展した企業に対するアンケート等をもとに、企業の海外展開に向けたヒアリング（7 社）を行い、専門コーディネーターによるマッチングフォローアップを実施するとともに、今年度の技術展当日にも専門家を配置し、アドバイス、コーディネート等による事業者支援を実施しました。

## 【具体的な事業と2012年度の実施状況】

事業名	2012年度計画	2012年度実績
地球温暖化対策事業 [環：地球環境推進室]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業活動地球温暖化対策計画書報告書制度の運用・見直しの検討</li> <li>●「低CO<sub>2</sub>川崎ブランド」の認定及び普及の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●計画書・報告書提出件数(第1,2,4号該当者) <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画書：3件</li> <li>・結果報告書：155件</li> <li>・立入件数：49件</li> </ul>           計画書制度等の見直しの実施</li> <li>●低CO<sub>2</sub>川崎ブランド12として、10件を認定するとともに、展示会等において広報を実施 「川崎メカニズム」の構築 域外貢献量の推計(2011年度) <ul style="list-style-type: none"> <li>・1,330千トン・CO<sub>2</sub></li> <li>(1990年度比4.6%に相当)</li> </ul> </li> </ul>
国連環境計画(UNEP)連携協調事業 (国際環境施策推進事業) [環：環境総合研究所] [環：地球環境推進室]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アジア・太平洋エコビジネスフォーラムの開催</li> <li>●UNEPプロジェクトへの協力・支援</li> <li>●「国連グローバル・コンパクト」、「かわさきコンパクト」の推進</li> <li>●中国瀋陽市との循環経済発展協力協定に基づく取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境技術移転に向けた取組の推進</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「第9回アジア・太平洋エコビジネスフォーラム」を開催し、254名が参加</li> <li>●固形廃棄物統合管理ワークショップ、循環型経済推進プロジェクト会議などに参加</li> <li>●「かわさきコンパクト」の推進に向け、セミナー3回開催 「かわさきコンパクトフォーラム」開催</li> <li>●第15期瀋陽市環境技術研修生受入れ <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国・瀋陽市から2名、29日間</li> <li>・環境行政研修、環境技術研修他</li> <li>・1997年度から研修生受入継続(延べ33名)</li> <li>・川崎市―瀋陽市環境にやさしい都市構築モデル事業に関するワークショップ参加</li> </ul> </li> </ul>
環境総合研究所整備事業 (環境総合研究推進事業) [環：環境総合研究所]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境総合研究所開設・運営 <ul style="list-style-type: none"> <li>・川崎の優れた環境技術による国際貢献の推進</li> <li>・環境技術情報の収集と発信</li> </ul>           など</li> <li>●産学公民連携による環境技術や研究開発の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2013年2月に環境総合研究所開設</li> <li>●6件の共同研究の実施及び研究成果を発信するためのセミナーを開催</li> </ul>
国際環境産業推進事業 [経：国際経済推進室]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「川崎国際環境技術展」の開催</li> <li>●技術展出展企業等へのマッチングフォローアップの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「川崎国際環境技術展2013」の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・優れた環境技術等を有する145団体242ブースが出展</li> <li>・海外30か国215人を含む約15,200人が来場</li> <li>・環境技術の海外への移転に向けたビジネスマッチングを実施</li> </ul> </li> <li>●企業の海外展開に向けたヒアリングを実施し、専門コーディネーターによるマッチングフォローアップを行った</li> </ul>
環境調和型産業振興事業 [経：国際経済推進室]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「環境産業フォーラム」の開催</li> <li>●市内環境技術・製品等の情報発信・ビジネス支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境産業フォーラム2回開催(延べ230人が参加)</li> <li>●環境産業に関するホームページのリニューアルと情報発信</li> </ul>

#### (4) 市の率先行動推進プロジェクト

##### 【現状と課題】

市役所は、民生部門（業務系）では市内最大規模の排出事業者となっており、市民や事業者  
に率先して、省エネルギーなどの地球温暖化対策に取り組んでいく必要があります。特に、市  
の公共施設については、多くの人が集い、市の環境配慮の取組のアピール度が高く、市民の省  
エネルギーへの関心の喚起など、効果的な普及広報が期待できることから、積極的に地球温暖  
化対策を進める必要があります。このため、普及啓発効果の高い太陽光発電などの再生可能エ  
ネルギー源の導入とあわせ、エネルギー効率の高い機器の導入や断熱性の向上などにより、庁  
舎からの温室効果ガスの削減などを着実に進めていく必要があります。



太陽光発電設備  
(麻生区役所)



第3庁舎エレベーターホール  
LED照明



電気自動車  
(市役所導入)

##### 【実施計画第1期間の主な取組と2012年度の実施状況】

###### 【実施計画第1期間の主な取組】

◇（仮称）産学公民連携研究センター（正式名称は「川崎生命科学・環境研究センター」に決定。略称は「L i S E」（ライズ）とする。）や上作延小学校、百合丘小学校などについて、モデル的にエネルギー効率の高い施設の整備を行うとともに、公共施設における省エネルギー設備等の導入のあり方について検討を進め、「（仮称）環境配慮型施設等設計指針」を策定する。【企：臨海部国際戦略室】【教：教育環境整備推進室】【環：地球環境推進室】

（仮称）産学公民連携研究センター（川崎生命科学・環境研究センター「L i S E」）においては太陽光・太陽熱の再生可能エネルギー源の導入や高効率照明などのエネルギー効率の高い機器の導入が図られ、2012年12月に竣工しました。旭町小学校、東菅小学校及び百合丘小学校においては太陽光発電設備やペアガラスによる断熱効果の高い窓の導入などの環境にも配慮した整備が行われました。また、市での環境に配慮した設備導入を積極的に推進するため「市建築物における環境配慮標準」の策定に向けて検討を行うとともに、高効率照明の導入可能性調査や空調のモデル事業の効果検証を行いました。

【実施計画第1期間の主な取組】

◇LED 照明の効果を検証するとともに、普及啓発に活用するため、モデル事業を実施する。  
【環：地球環境推進室】

公共施設における白熱電球のLED化を推進するとともに、高効率照明の導入可能性調査を行いました。

【実施計画第1期間の主な取組】

◇環境に配慮した電力入札の実施など環境配慮契約推進方針に基づく取組を推進するとともに、環境負荷の少ない製品等を優先的に購入するグリーン購入推進方針に基づく取組を進める。【環：地球環境推進室】

価格に加えて環境性能を含めて総合的に評価し、もっとも優れた製品やサービス等を選択するため、「平成24年度川崎市環境配慮契約推進方針」を策定し、環境に配慮した契約を推進しました。

また、市内におけるグリーン購入の一層の推進を目的として、グリーン購入法に規定される川崎市の調達方針「川崎市グリーン購入推進方針」を2002年7月に策定し、14分野154品目を対象品目として指定しました。2012年度は対象分野、品目を20分野267品目に拡大した「平成24年度川崎市グリーン購入推進方針」を策定し、グリーン購入を推進しました。

【実施計画第1期間の主な取組】

◇（仮称）産学公民連携研究センター（川崎生命科学・環境研究センター「LiSE」）の整備において、環境分野の研究開発拠点にふさわしい環境技術ショーケースとなる技術として太陽光、太陽熱などの再生可能エネルギー源利用施設の導入や一部の区役所への太陽光発電設備の導入など、啓発効果の高い公共施設への再生可能エネルギーの導入を進める。【企：臨海部国際戦略室】  
【環：地球環境推進室】

（仮称）産学公民連携研究センター（川崎生命科学・環境研究センター「LiSE」）においては太陽光・太陽熱の再生可能エネルギー源の導入が図られ、2012年12月に竣工しました。

公共施設における再生可能エネルギーの導入・利用状況調査を実施し、2012年度末現在で太陽光発電設備が70施設に821kW、マイクロ風力発電が1施設に12kW、小水力発電が3施設に267kWの導入を確認しました。2012年度では、1kW以上の太陽光発電設備を学校等5か所に導入しました。

## 【具体的な事業と2012年度の実施状況】

事業名	2012年度計画	2012年度実績
エコオフィス推進事業 [環：地球環境推進室] [環：交通環境対策課]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地球温暖化対策推進計画(CCかわさき推進プラン)に基づく取組の推進</li> <li>●「(仮称)環境配慮型施設等設計指針」の検討</li> <li>●職員による省エネルギー対策の推進</li> <li>●エネルギー効率の高い機器の導入や断熱性能の向上による公共施設における省エネルギーの取組のモデル実施</li> <li>●環境に配慮した電力入札の実施など、環境配慮契約推進方針に基づく取組の推進</li> <li>●グリーン購入推進方針に基づく取組の推進</li> <li>●公用車における電気自動車の導入</li> <li>●エコオフィス管理システムの運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●計画に基づく市役所からの温室効果ガス排出量の削減を目指した取組の実施</li> <li>●「市建築物における環境配慮標準」の策定に向けた検討を実施</li> <li>●空調負荷の低減や照明の減灯などの節電行動の実施</li> <li>●白熱電球のLED化の推進 公共施設における省エネルギー設備の導入</li> <li>●平成24年度環境配慮契約推進方針の推進 平成25年度環境配慮契約推進方針の策定</li> <li>●平成24年度グリーン購入推進方針の推進 平成25年度グリーン購入推進方針の策定</li> <li>●公用車1台導入(保有台数6台)</li> <li>●エコオフィス管理システムを活用した状況把握の実施</li> </ul>
再生可能エネルギー推進事業 (環境エネルギー推進事業) [環：地球環境推進室]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公共施設における再生可能エネルギー利用設備の導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公共施設への導入状況 □太陽光発電設備(1kW以上):5か所 ・かわさき新産業創造センター新館(NANOBI)(30kW) ・百合丘小学校(10kW) ・旭町小学校(10kW) ・東菅小学校(10kW) ・川中島小学校(10kW)</li> </ul>
殿町3丁目地区中核施設等整備事業 [企：臨海部国際戦略室]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(仮称)産学公民連携研究センターの開設・運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(仮称)産学公民連携研究センター(川崎生命科学・環境研究センター「L i S E」)の運営開始</li> </ul>

### 【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012年度実績
処理センター整備事業 [環：施設建設課]	温室効果ガスの削減など、環境負荷の低減に向け、3焼却処理施設体制を構築していくため、今後のごみ焼却処理施設の整備に関する基本的な考え方を取りまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・橋処理センター基本計画(素案)の策定</li> <li>・橋処理センター整備に向けた法令手続</li> </ul>
学校教育施設の改築・大規模改修事業 [教：教育環境整備推進室]	上作延小学校や百合丘小学校などにおいて、断熱性の向上など、環境配慮の取組を進める。	校舎等に関して、旭町小学校(2013年2月建築)、東菅小学校(2013年2月建築)及び百合丘小学校(2012年7月建築)において太陽光発電設備やペアガラスの窓などを導入

## 2 基本施策ごとの事務事業

### I 事業活動における温室効果ガス排出量の削減の推進

#### 現状と課題

温室効果ガスの大部分を占める二酸化炭素排出量のうち、事業活動に係る転換部門、産業部門、民生部門（業務系）、工業プロセス部門については本市の二酸化炭素排出量全体の 87.3% を占めています。二酸化炭素以外の温室効果ガスについては、基準年度（1990 年度）に対してハイドロフルオロカーボン類、パーフルオロカーボン類及び六ふっ化硫黄は減少しているものの、メタン及び一酸化二窒素は増加しています。（2010 年度暫定値）

こうした中で、エネルギー使用量の削減による二酸化炭素排出量の削減を誘導していくとともに、二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量のさらなる削減を促していく必要があります。

その際は、川崎の特徴である環境技術を活用していくという視点が重要になるとともに、2010 年 4 月に施行した地球温暖化対策推進条例に基づく事業活動地球温暖化対策計画書・報告書制度を活用した大規模事業者の温室効果ガス排出量の削減の取組の促進や中小規模事業者の温室効果ガス排出量削減に向けた促進策などが必要です。

#### 事業活動に係る部門別二酸化炭素排出量の推移

単位：千トンCO<sub>2</sub>

項目	1990年度	2000年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度 暫定値	2010年度 暫定値
転換部門	437.9	414.9	216.1	289.8	360.6	378.6	375.5
産業部門	21615.1	18901.7	18686.6	19575.2	18184.7	16801.8	18091.1
民生部門（業務系）	1146.7	1374.9	1482.7	2142.7	2046.2	1900.5	1867.4
工業プロセス部門	934.5	640.8	797.3	777.6	786.8	782.5	634.6

※合計値は四捨五入の関係で、マトリックス表の数値及び各欄の合計と必ずしも一致しない

#### 基本的方向

- ◇ 事業活動に係るエネルギーの効率的な利用を促す。
- ◇ 二酸化炭素とともに、他の温室効果ガス排出量の削減を促す。
- ◇ 低炭素型のビジネススタイルを構築する。
- ◇ 先端的なエネルギー関連施設の立地を契機としてエネルギー分野の産業を創出する。
- ◇ 省資源型、省エネルギー型の産業構造を目指す。

#### 基本施策と施策課題

##### I 事業活動における温室効果ガス排出量の削減の推進

I-1 大規模事業者の二酸化炭素排出量の削減

I-2 中小規模事業者の二酸化炭素排出量の削減

I-3 二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量の削減

I-4 低炭素型のビジネススタイルの構築

I-5 環境調和型産業の振興・育成

I-6 エココンビナート構想の推進

## 施策課題ごとの実施状況

### I-1 大規模事業者の二酸化炭素排出量の削減

事業活動地球温暖化対策計画書・報告書制度を的確に運用し、計画書提出事業者に対する立入調査を実施するなど、大規模事業者の自主的な温室効果ガス排出量の削減を促しました。

事業名	2012年度計画	2012年度実績
地球温暖化対策事業 〔環：地球環境推進室〕	●事業活動地球温暖化対策計画書制度の運用・見直しの検討	□計画書・報告書提出件数（第1,2,4号該当者） ・計画書：3件 ・結果報告書：155件 □立入調査件数：49件 □計画書制度等の見直しの実施

#### 【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012年度実績
大気汚染防止対策事業 〔環：環境対策課〕	環境性能の優れた燃焼施設等の導入を促進する。	普及啓発の実施
環境調和型まちづくり （エコタウン）推進事業 〔経：国際経済推進室〕	環境調和型まちづくりを推進するため、川崎ゼロ・エミッション工業団地等における資源循環等の取組を支援する。	□川崎ゼロ・エミッション工業団地を中心とする情報発信・エコ学習の実施 ・エコタウン視察者 800人以上 ・エコ学習参加者 68組 158名
川崎臨海部エココンビナートの推進事業 〔経：国際経済推進室〕	川崎臨海部リエゾン推進協議会やNPO法人産業・環境創造リエゾンセンターと連携して、臨海部における資源エネルギーの有効活用などを推進する。	産学公民連携組織と連携し、新たな資源エネルギーの循環・有効活用に向けた取組を推進した

### I-2 中小規模事業者の二酸化炭素排出量の削減

エコ化支援事業による省エネルギー機器等導入への補助や省エネルギー診断の実施など、中小規模事業者の温室効果ガス排出量の削減に向けて支援を行いました。

事業名	2012年度計画	2012年度実績
地球温暖化対策事業 〔環：地球環境推進室〕	●中小規模事業者向け省エネ診断の実施 ●中規模事業者における効果的な省エネ支援策の検討	・省エネルギー診断（1件） ・市内事業者エコ化支援事業（6件） ・中小規模事業者における効果的な省エネ支援策検討の実施

#### 【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012年度実施状況
公害防止資金融資事業 〔環：企画指導課〕	中小企業者の公害防止設備等の改善支援のため、資金融資をあっせんするとともに、支払い利子を補給する。	□補助、支援件数 ・融資実績：0件(-1件)、 ・利子補給：9件(±0件)、
商店街課題対応事業 〔経：商業観光課〕	「商店街エコ化プロジェクト事業」による商店街街路灯のLED化を促す。	商店街エコ化プロジェクト事業（LED化） 11件
間接融資事業 （環境対策資金） 〔経：金融課〕	民間金融機関との連携により、市内中小企業等の環境に配慮した設備への投資や取組などに対する融資を実施する。	預託金決算額 3億9,000万円 （預託先金融機関 17行）

### I-3 二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量の削減

二酸化炭素以外の温室効果ガスについては増加傾向にある物質もあるので、事業活動地球温暖化対策計画書・報告書制度を的確に運用し、自主的な削減を促しました。

事業名	2012年度計画	2012年度実績
地球温暖化対策事業 〔環：地球環境推進室〕	●事業活動地球温暖化対策計画書制度の運用・見直しの検討	□事業活動地球温暖化対策計画書制度 計画書・報告書提出件数（第4号該当者） ・計画書：0件 ・結果報告書：17件



#### I-4 低炭素型のビジネススタイルの構築

ライフサイクル全体でCO<sub>2</sub>を削減する製品等を評価する低CO<sub>2</sub>川崎ブランドを認定するとともに、川崎メカニズムを構築しました。市民が環境に配慮した製品を選択できるような仕組みに向け市民との協働の取組を進めました。また、地域貢献活動を促すかわさきコンパクトを推進しました。

事業名	2012年度計画	2012年度実績
地球温暖化対策事業 [環：地球環境推進室]	●「低CO <sub>2</sub> 川崎ブランド」の認定及び普及の推進	・低CO <sub>2</sub> 川崎ブランド'12として、10件を認定するとともに、展示会等において広報を実施 ・「川崎メカニズム」の構築
協働による地球環境配慮の推進 [環：地球環境推進室]	●川崎市地球温暖化防止活動推進センターを核とした協働の取組の推進 ●川崎市地球温暖化防止活動推進員の委嘱、推進員による温暖化防止活動の促進 ●CCかわさき交流コーナーでの普及啓発活動の実施	・町内会・自治会等での省エネ・節電学習会の実施、環境イベントへの出展 ・川崎市地球温暖化防止活動推進員制度を開始し、77名を委嘱 推進員を中心とした実践活動プロジェクト等を通じた出前講座の実施や環境イベントへの出展 ・CCかわさき交流コーナーにおけるテーマ展示（毎月）、ミニ講座等の実施（月1回） 夏休みの自由研究相談と講座の実施（12回）
国連環境計画(UNEP)連携協調事業 (国際環境施策推進事業) [環：地球環境推進室]	●「国連グローバル・コンパクト」、「かわさきコンパクト」の推進	・「かわさきコンパクト」の推進に向け、セミナー3回開催 ・「かわさきコンパクトフォーラム」開催

#### I-5 環境調和型産業の振興・育成

環境産業フォーラム等の開催を通じて、情報交換・情報発信を進め、事業者間のネットワーク化等を促しました。

事業名	2012年度計画	2012年度実績
国連環境計画(UNEP)連携協調事業 (国際環境施策推進事業) [環：環境総合研究所] [環：地球環境推進室]	●アジア・太平洋エコビジネスフォーラムの開催 ●「国連グローバル・コンパクト」、「かわさきコンパクト」の推進	・「第9回アジア・太平洋エコビジネスフォーラム」を開催し、254人が参加 ・「かわさきコンパクト」の推進に向け、セミナー3回開催 ・「かわさきコンパクトフォーラム」開催
環境調和型産業振興事業 [経：国際経済推進室]	●「環境産業フォーラム」の開催 ●市内環境技術・製品等の情報発信・ビジネス支援	・「環境産業フォーラム」2回開催（延べ230人が参加） ・環境産業に関するホームページのリニューアルと情報発信 ・かわさき環境ショーウィンドウモデル事業6件実施 ・かわさき環境ショーウィンドウ大賞7件選定 ・かわさき環境ショーウィンドウフェアの開催 ・エコテックウォーカーの作成

#### 【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012年度実施状況
先端産業等立地促進事業 [経：工業振興課]	環境・エネルギー等の先端技術の事業化を支援する先端産業創出支援制度を活用した先端産業の立地を促進する。	先端産業創出支援制度等を活用した環境・エネルギー分野等の先端産業の立地を促進した。

## I-6 エココンビナート構想の推進

川崎ゼロ・エミッション工業団地等における資源循環等の取組を支援しました。また、資源循環・未利用エネルギーの有効活用に向けた取組を推進するとともに、広く情報発信しました。

事業名	2012年度計画	2012年度実績
環境調和型まちづくり (エコタウン) 推進事業 [経: 国際経済推進室]	●川崎ゼロ・エミッション工業団地を中心とするエコタウンの情報発信、エコ学習の実施	□川崎ゼロ・エミッション工業団地を中心とする情報発信・エコ学習の実施 ・エコタウン視察者 800人以上 ・エコ学習参加者 68組 158名
川崎臨海部エココンビナートの推進事業 [経: 国際経済推進室]	●産学公民連携組織と連携し、新たな資源・エネルギーの循環・有効活用に向けた取組の推進 ●川崎臨海部の取組について国内外に情報発信 ●「京浜臨海部コンビナート高度化等検討会議」の運営	・産学公民連携組織と連携し、新たな資源エネルギーの循環・有効活用に向けた取組を推進した ・ホームページによる情報発信 ・県と連携し、臨海部立地企業等が参画した「京浜臨海部コンビナート高度化等検討会議」を3回開催するとともに、ワーキンググループを立ち上げ、企業間連携に向け、取組を進めた

## 指標の推移

施策課題	指標	計画策定時	現状	目標
I-1	二酸化炭素排出量(転換部門、産業部門、民生部門(業務系)、工業プロセス部門)	21,378千トン-CO <sub>2</sub> (2008年度改定値)	20,969千トン-CO <sub>2</sub> (2010年度暫定値)	—
I-3	二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量	530.8千トン-CO <sub>2</sub> (2008年度改定値)	286.8千トン-CO <sub>2</sub> (2010年度暫定値)	

## II 市民生活における温室効果ガス排出量の削減の推進

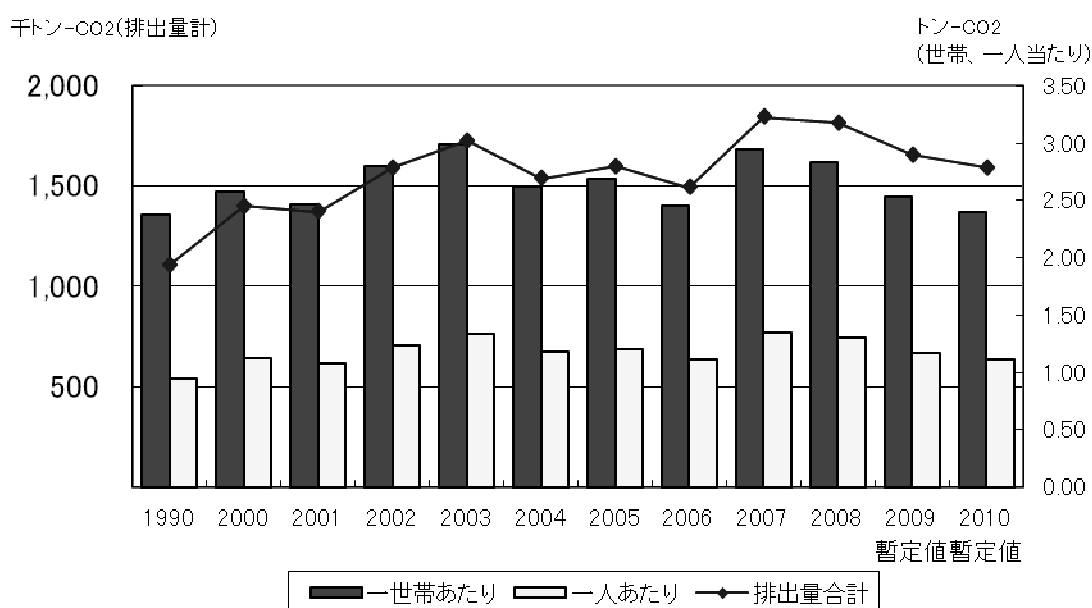
### 現状と課題

2010 年度（暫定値）の民生部門（家庭系）からの二酸化炭素排出量は、人口の大幅な増加、1人当たりの二酸化炭素排出量の増加などにより、1990 年度に比べて 43.6%の増加となっています。

一方で、日常生活での地球温暖化防止の意識調査（平成 22 年度第 1 回かわさき市民アンケート）では「意識している」が 8 割以上となっています。

140 万を超える人口を抱える本市にとって、市民一人ひとりに働きかけていくには、課題もありますが、市民意識の高揚を図り、市民生活におけるエネルギー使用量の削減行動などを促していく必要があります。

民生部門（家庭系）の二酸化炭素排出量の推移



### 基本的方向

- ◇ 温室効果ガス排出量の「見える化」を進め、取組の効果が実感できる仕組みを構築する。
- ◇ 環境配慮型ライフスタイルを選択できる仕組みを構築する。
- ◇ 低CO<sub>2</sub>川崎ブランドなど低炭素ものづくりが市場で評価される仕組みを構築する。

### 基本施策と施策課題

#### II 市民生活における温室効果ガス排出量の削減の推進

II-1 環境配慮型ライフスタイルの構築

II-2 エネルギー・資源消費の抑制等

II-3 協働した地球温暖化対策の推進

## 施策課題ごとの実施状況

### Ⅱ-1 環境配慮型ライフスタイルの構築

2011年1月に開設した「CCかわさき交流コーナー」などを活用して地域における活動支援・普及啓発を行うとともに、環境に配慮した製品等を選択できるような低CO<sub>2</sub>川崎ブランドなどを推進しました。

事業名	2012年度計画	2012年度実績
協働による地球環境配慮の推進 [環：地球環境推進室]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●川崎市地球温暖化防止活動推進センターを核とした協働の取組の推進</li> <li>●川崎市地球温暖化防止活動推進員の委嘱、推進員による温暖化防止活動の促進</li> <li>●CCかわさき交流コーナーでの普及啓発活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会・自治会等での省エネ・節電学習会の実施、環境イベントへの出展</li> <li>・川崎市地球温暖化防止活動推進員制度を開始し、77名を委嘱 推進員を中心とした実践活動プロジェクト等を通じた出前講座の実施や環境イベントへの出展</li> <li>・CCかわさき交流コーナーにおけるテーマ展示（毎月）、ミニ講座等の実施（月1回） 夏休みの自由研究相談と講座の実施（12回）</li> </ul>
地球温暖化対策事業 [環：地球環境推進室]	●「低CO <sub>2</sub> 川崎ブランド」の認定及び普及の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低CO<sub>2</sub>川崎ブランド'12として、10件を認定するとともに、展示会等において広報を実施</li> <li>・「川崎メカニズム」の構築</li> </ul>
国連環境計画(UNEP)連携協調事業 (国際環境施策推進事業) [環：地球環境推進室]	●「国連グローバル・コンパクト」、「かわさきコンパクト」の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「かわさきコンパクト」の推進に向け、セミナー3回開催</li> <li>・「かわさきコンパクトフォーラム」開催</li> </ul>

#### 【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012年度実施状況
地産地消推進事業 [経：農業振興課]	新鮮・安全・安心な市内産農産物を市民へ安定的に供給するため、生産・出荷を奨励して地産地消を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消推進協議会：3回開催</li> <li>・PR活動を兼ねた農産物直売会：地産地消フェア 1回、他のイベントへの参加 3回</li> <li>・かわさきそだちPRキャラクター愛称公募 愛称：菜果（さいか）ちゃん</li> <li>・PR活動としての料理教室及びバスツアー：各2回</li> <li>・市内産農産物の安定供給の支援：市場出荷及び梨の保存奨励金並びに価格補償の補助金交付</li> <li>・学校給食への野菜供給と併せて生産者による講話を実施：8校</li> <li>・直売団体の育成支援及びセシサモス出荷者への奨励金交付</li> <li>・南部地域における、セシサモスによる農産物等の出張販売：12回</li> </ul>

### Ⅱ-2 エネルギー・資源消費の抑制等

センターや推進員の活動によりエネルギー消費抑制の普及啓発を進めました。また、分別収集の拡充に係るフォローアップ広報を実施するとともに、出前ごみスクールを開催するなど3Rを推進しました。

事業名	2012年度計画	2012年度実績
協働による地球環境配慮の推進 [環：地球環境推進室]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●川崎市地球温暖化防止活動推進センターを核とした協働の取組の推進</li> <li>●川崎市地球温暖化防止活動推進員の委嘱、推進員による温暖化防止活動の促進</li> <li>●CCかわさき交流コーナーでの普及啓発活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会・自治会等での省エネ・節電学習会の実施、環境イベントへの出展</li> <li>・川崎市地球温暖化防止活動推進員制度を開始し、77名を委嘱 推進員を中心とした実践活動プロジェクト等を通じた出前講座の実施や環境イベントへの出</li> </ul>

事業名	2012 年度計画	2012 年度実績
		展 ・CCかわさき交流コーナーにおけるテーマ展示（毎月）、ミニ講座等の実施（月1回） 夏休みの自由研究相談と講座の実施（12回）
普及広報活動事業 〔環：減量推進課〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ごみの分け方・出し方リーフレットの全戸配布</li> <li>●出前ごみスクール、ふれあい出張講座の開催</li> <li>●ミックスペーパー分別収集の全市実施後のフォローアップ広報の実施</li> <li>●プラスチック製容器包装の分別収集全市実施に向けた広報の実施</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 資源物とごみの分け方・出し方 <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成部数：800,000部</li> </ul> <input type="checkbox"/> 出前ごみスクール：122回 <input type="checkbox"/> ふれあい出張講座：66回 <input type="checkbox"/> ミックス・プラ分別収集啓発資料の作成数 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミックス・プラ啓発チラシ：280,000枚</li> <li>・集積所表示ボード：5,000枚</li> <li>・啓発ポスター：11,000枚</li> </ul> <input type="checkbox"/> 広報の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・集積所等 53回</li> <li>・区役所等 119回</li> </ul>
分別収集事業 〔環：収集計画課〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>●空き缶・空き瓶・ペットボトル・小物金属・ミックスペーパー・使用済み乾電池の分別収集の実施</li> <li>●プラスチック製容器包装分別収集の南部3区（川崎区、幸区、中原区）実施</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 分別収集量(回収量) <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き缶：7,304トン/年(-8トン)</li> <li>・空きびん：11,653トン/年(+76トン)</li> <li>・ペットボトル：5,103トン/年(-64トン)</li> <li>・小物金属：2,692トン/年(+57トン)</li> <li>・ミックスペーパー：10,662トン/年(+44トン)</li> <li>・古紙：108トン/年(+10トン)</li> <li>・使用済み乾電池：245トン/年(-50トン)</li> </ul> <input type="checkbox"/> 2011年3月からプラスチック製容器包装分別収集の南部3区（川崎区、幸区、中原区）実施分別収集量(回収量) <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスチック製容器包装：3,811トン/年(-85トン)</li> </ul>

【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012 年度実施状況
防犯対策事業 〔市：地域安全推進課〕	防犯対策の一環として、町内会、自治会等が設置する防犯灯のLED化を進める	LED防犯灯の設置促進（2,902灯）

### Ⅱ-3 協働した地球温暖化対策の推進

センターを核としながら「CCかわさき交流コーナー」や推進員などを活用した地球温暖化対策を進めました。

事業名	2012 年度計画	2012 年度実績
協働による地球環境配慮の推進 〔環：地球環境推進室〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>●川崎市地球温暖化防止活動推進センターを核とした協働の取組の推進</li> <li>●川崎市地球温暖化防止活動推進員の委嘱、推進員による温暖化防止活動の促進</li> <li>●CCかわさき交流コーナーでの普及啓発活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会・自治会等での省エネ・節電学習会の実施、環境イベントへの出展</li> <li>・川崎市地球温暖化防止活動推進員制度を開始し、77名を委嘱</li> <li>推進員を中心とした実践活動プロジェクト等を通じた出前講座の実施や環境イベントへの出展</li> <li>・CCかわさき交流コーナーにおけるテーマ展示（毎月）、ミニ講座等の実施（月1回）</li> <li>夏休みの自由研究相談と講座の実施（12回）</li> </ul>

- 各区の取組 -

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012 年度実施状況
環境まちづくり事業		
川崎区 [川：企画課]	地域緑化推進事業の実施、地域と連携した環境啓発事業の実施など、区内の緑環境の充実、地球温暖化対策としての二酸化炭素削減に向けた取組を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民と協働した緑を育むまちづくりや公共施設緑化の取組</li> <li>・市民提案型事業「いきいきかわさき区提案事業」として、地域団体と協働で、市民健康の森「浮島町公園」で動植物の観察など環境学習を実施</li> <li>・地球環境問題啓発ポスターコンクールや環境講座の実施</li> </ul>
幸区 [幸：企画課]	「地域で、できることからはじめよう」と、区内での打ち水や緑のカーテンの実施を広く呼びかけるなど、区民の環境意識の啓発、高揚を図る取組を進める。区民協働による区役所前の花植え、公共花壇で緑化活動を行う団体の支援等区民が行う緑化活動を支援し、花と緑のまちづくりを進める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民にゴーヤーの種子を配布するなど、つる性植物による緑のカーテンの作成を呼び掛ける「緑のカーテン大作戦」を実施</li> <li>・企業や団体と連携し、ラゾーナ川崎プラザ・ミュージアム川崎ベデスティアンデッキでの打ち水イベントの実施や、パケツやひしゃくなどの物品の貸し出しにより地域での打ち水の実施を呼び掛ける「しあわせれいんぼう作戦」の実施</li> <li>・食品を提供する区内の大規模なイベントにおいて、使い捨てでなく再利用できるリユース食器の利用を促進するリユース食器利用促進事業の実施</li> <li>・区役所、出張所の庁舎を拠点に、企業や市民活動団体と連携し、使用済みインクカートリッジや、使用済みてんぷら油の回収を実施</li> <li>・企業や、市民活動団体と連携し、子ども向けに環境問題について、楽しみながら体験できる「幸区子ども環境展」を開催するとともに、環境問題に関する作品を募集する「環境作品コンクール」を開催</li> <li>・さいわい花クラブや小中学校・企業と連携した公共花壇への花の植栽活動の実施</li> <li>・区内緑化活動団体への花苗等の提供を通じた支援の実施</li> </ul>
中原区 [中：企画課]	地球温暖化防止に向けた区民環境行動指針に示されている取組を地域が主体で取り組めるように推進する。区民による公共空間の植栽と維持管理など公共空間に花を植え、潤いのあるまちづくりを進める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業等と連携して等々力緑地において「中原区エコカフェ」を開催し環境活動の普及啓発を実施</li> <li>・区民へのゴーヤーの種の配布や区役所でヘチマやゴーヤーの緑のカーテンを栽培する「緑のカーテン事業」を実施</li> <li>・企業と連携した打ち水体験イベントとして、7月28日に川崎フロンターレ公式戦と同日開催の「CC等々力打ち水大作戦」の実施や打ち水物品の貸出を行う「なかはら打ち水大作戦」を実施</li> <li>・小学校による企業の環境活動を見学する「地域・企業・行政連携事業」を実施</li> <li>・「環境ショーケース」と称し、区役所における太陽光発電設備等を紹介する環境教育・環境学習の実施</li> <li>・花クラブ実行委員会による区内への植栽・管理活動、植栽イベントの実施</li> </ul>
高津区 [高：企画課]	「エコシティたかつ」推進方針に基づき、地域レベルにおいて多様な主体との連携により、学校のピオトープを活用した環境学習支援などの各種中期プロジェクトに取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区役所庁舎を環境展示場（エコシティホール）化し、随時見学を受け入れ</li> <li>・「緑のカーテン」等の環境への取組を表彰する「エコ・エネライフコンクール」の開催</li> <li>・「学校流域プロジェクト」として、小学校へのピオトープの設置等、身近な環境学習の場を整備し、それらを活用した環境学習の実施</li> </ul>

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012 年度実施状況
環境まちづくり事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設前やキラリデッキ上等に区民と協働して花壇を設置管理</li> <li>・平瀬川支流周辺の豊かな緑と水のネットワークの構築による自然共生型都市再生に向けた検討の推進</li> <li>・「たかつの自然の賑わいづくり事業」として、生物多様性貢献の取組み（水・緑・生きもの調査及び手入れ作業）を川崎市立緑ヶ丘霊園にて、市民協働でモデルを実施</li> <li>・エコ企業調査として、環境に配慮した取組みを積極的に行っている企業等を市民協働で調査及び情報共有し、ホームページ等で紹介</li> </ul>
宮前区 [宮：企画課]	リサイクル現場の見学、緑のカーテン及び区役所庁舎の屋上緑化により、身近な環境問題や二酸化炭素削減の取組を区民に紹介する啓発事業を進める。地域の緑化団体等と協働し、区内の緑化を進める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民美化活動等のイベントを通じた意識啓発の実施</li> <li>・「みやまえ JUN-CAN まつり」の開催</li> <li>・東名川崎インターチェンジ周辺における区民との協働による花壇の設置・維持管理</li> <li>・花苗提供や講座開催等を通して、区内の公有地にある花壇を自主管理している団体等の活動を支援</li> </ul>
多摩区 [多：企画課]	緑のカーテン大作戦やイベントでのリユース食器を活用した取組の実施、エコに関するイベントの開催など地元商店街や地域活動団体などとの協働により、CCかわさき関連事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民と協働した緑のカーテン大作戦等の実施</li> <li>・使用済みてんぷら油の回収など、協働推進事業を通じた環境保全意識の啓発</li> <li>・環境に関するイベントやパネル展示の実施</li> <li>・イベントにおけるリユース食器の使用</li> </ul>
麻生区 [麻：企画課]	ゴーヤーのカーテンによる区庁舎等のエコ活動の実施、自然エネルギーの活用促進など、身近なエコ活動の紹介等を通じて、区民のエコ活動に対する関心を高め、「エコのまち麻生」を推進する。公共空間にある花壇を管理している団体に花苗、培養土等を提供し、区内の美化環境や地域コミュニティの向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎の太陽光発電設備を活用した見学会や講演会、小学校を対象とした出前授業の実施</li> <li>・身近なエコの取組事例を紹介した「エコのまち麻生」のパンフレットの配布</li> <li>・美化活動団体への支援</li> <li>・環境フェアの開催</li> </ul>

## 指標の推移

施策課題	指標	計画策定時	現状	目標
Ⅱ-1	二酸化炭素排出量（民生部門（家庭系））	1,816.2千トン・CO <sub>2</sub> （2008年度改定値）	1,590.5千トン・CO <sub>2</sub> （2010年度暫定値）	—

### Ⅲ 再生可能エネルギー源等の利用

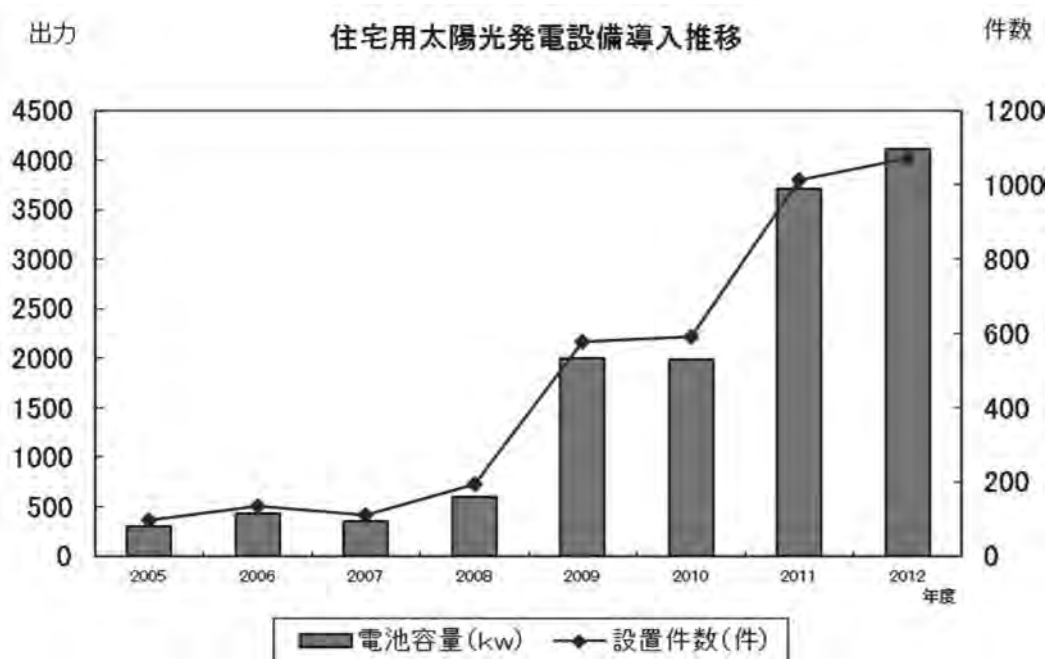
#### 現状と課題

太陽光、太陽熱といった再生可能エネルギー源は、特定の地域に偏在しているものではなく、どこでも利用できることから「地産地消のエネルギー」といった特性を有しています。

市域内では、臨海部で川崎大規模太陽光発電所（浮島・扇島）の運転が開始されました。

本市では、2006年度から住宅用太陽光発電設備設置補助を開始するなど、住宅への太陽光発電の導入について、一定の成果を挙げていますが、市域内への導入拡充に向け、さらなる取組が必要となっています。

二酸化炭素をほとんど排出しない再生可能エネルギー源を利用することは、地球温暖化対策を推進していく上で重要な手段であり、さらなる拡大が求められます。



#### 基本的方向

- ◇ 目標：太陽エネルギー（太陽光・熱）利用量を2020年度までに30倍にする（2005年度比）。
- ◇ エネルギーの地域全体での有効かつ効率的な利用を促す。
- ◇ 再生可能エネルギー源や地域の未利用エネルギー資源の利用を促す。
- ◇ 低炭素エネルギー産業との共生を促す。

#### 基本施策と施策課題

##### Ⅲ 再生可能エネルギー源等の利用

Ⅲ-1 ソーラーシティプロジェクトの推進

Ⅲ-2 エネルギーを有効利用する仕組みづくり

Ⅲ-3 地域特性を踏まえた再生可能エネルギー源等の導入拡大



## 施策課題ごとの実施状況

### Ⅲ-1 ソーラーシティプロジェクトの推進

川崎大規模太陽光発電所に隣接する環境学習施設「かわさきエコ暮らし未来館」を活用した普及啓発を進めるとともに、補助制度による一般家庭への再生可能エネルギー源の導入を促進しました。また、開発事業地球温暖化対策計画書制度などを通じて、再生可能エネルギー源の利用を促しました。

事業名	2012年度計画	2012年度実績
再生可能エネルギー推進事業 (環境エネルギー推進事業) [環：地球環境推進室]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「かわさきエコ暮らし未来館」の運営</li> <li>●CCかわさきエネルギーパークの構想の推進</li> <li>●家庭用太陽光発電設備の補助の実施</li> <li>●太陽熱など、他の再生可能エネルギーの普及に向けた取組の推進</li> <li>●公共施設における再生可能エネルギー利用設備の導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□「かわさきエコ暮らし未来館」 累計来館者約 35,000 人 環境教室の開催：5 回</li> <li>□市内エネルギー施設を CC かわさきエネルギーパークとして情報発信するとともに、モニターツアー（1 回）を実施</li> <li>□住宅用太陽光発電設備設置補助 補助件数 総計：1,072 件（約 4,110kW） &lt;内訳&gt;個人住宅 1,045 件（約 3,925kW） 共同住宅 27 件（約 185kW）</li> <li>□住宅用太陽熱利用設備設置補助 補助件数：16 件</li> <li>□公共施設への導入状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電設備（1kW 以上）：5 か所</li> <li>・かわさき新産業創造センター新館（NANOBIIC）（30kW）</li> <li>・百合丘小学校（10kW）</li> <li>・旭町小学校（10kW）</li> <li>・東菅小学校（10kW）</li> <li>・川中島小学校（10kW）</li> </ul> </li> </ul>
地球温暖化対策事業 [環：地球環境推進室]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●開発事業地球温暖化対策計画書制度等の運用</li> <li>●中小規模事業者向け省エネ診断の実施</li> <li>●中小規模事業者における効果的な省エネ支援策の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開発事業地球温暖化対策計画書制度 計画書提出件数：3 件</li> <li>・省エネルギー診断：1 件</li> <li>・市内事業者エコ化支援事業：6 件</li> <li>・中小規模事業者における効果的な省エネ支援策検討の実施</li> </ul>

#### 【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012年度実施状況
建築物環境配慮推進事業 [ま：建築指導課]	「太陽光発電設備」及び「太陽熱利用設備」の利用を促し、自然エネルギーの利用を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物環境計画書 届出件数：82 件</li> <li>・建築物環境配慮制度対象規模変更の説明会実施</li> </ul>
新エネルギー産業創出事業 [経：国際経済推進室]	関係団体と連携して新エネルギー産業の創出・育成を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新エネルギー産業セミナーを 2 回開催（延べ約 165 人参加）</li> <li>・川崎市新エネルギー振興協会による普及啓発活動等の実施</li> </ul>
浮島地区土地利用推進事業 [企：臨海部国際戦略室]	川崎大規模太陽光発電所を整備し、再生可能エネルギーの普及・啓発を行う。	川崎大規模太陽光発電所とかわさきエコ暮らし未来館との連携した普及啓発の実施

### Ⅲ-2 エネルギーを有効利用する仕組みづくり

エネルギー利用の効率化をめざしたスマートシティモデル事業を推進するとともに、開発事業地球温暖化対策計画書制度などを通じて、エネルギーの有効活用を促しました。また、CCかわさき交流コーナーなどにおいてエネルギーに関する普及啓発を行いました。

事業名	2012年度計画	2012年度実績
再生可能エネルギー推進事業 〔環境エネルギー推進事業〕 〔環：地球環境推進室〕 〔企：スマートシティ戦略室〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「かわさきエコ暮らし未来館」の運営</li> <li>●スマートシティモデル事業の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「かわさきエコ暮らし未来館」 累計来館者約 35,000 人 環境教室の開催：5 回</li> <li>・スマートシティを構築するため、基本的な考え方をスマートシティ構想（素案）及びモデル事業等の取組の方向性に反映</li> <li>・各モデル事業（川崎駅周辺地区・富士見周辺地区実施）の実施に向けて、取組の方向性の検討・取りまとめを実施</li> <li>・新たなモデル事業として、臨海部地域や小杉駅周辺地区における取組について検討</li> </ul>
地球温暖化対策事業 〔環：地球環境推進室〕	●開発事業地球温暖化対策計画書制度の運用	開発事業地球温暖化対策計画書制度 計画書提出件数：3 件
協働による地球環境配慮の推進 〔環：地球環境推進室〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>●川崎市地球温暖化防止活動推進センターを核とした協働の取組の推進</li> <li>●川崎市地球温暖化防止活動推進員の委嘱、推進員による温暖化防止活動の促進</li> <li>●CCかわさき交流コーナーでの普及啓発活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会・自治会等での省エネ・節電学習会の実施、環境イベントへの出展</li> <li>・川崎市地球温暖化防止活動推進員制度を開始し、77 名を委嘱 推進員を中心とした実践活動プロジェクト等を通じた出前講座の実施や環境イベントへの出展</li> <li>・CCかわさき交流コーナーにおけるテーマ展示（毎月）、ミニ講座等の実施（月 1 回） 夏休みの自由研究相談と講座の実施（12 回）</li> </ul>

【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012年度実施状況
建築物環境配慮推進事業 〔ま：建築指導課〕	建築物環境配慮制度（CASBEE川崎）を運用し、地球環境にやさしい建築物の普及促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物環境計画書 届出件数：82 件</li> <li>・建築物環境配慮制度対象規模変更の説明会実施</li> </ul>

### Ⅲ-3 地域特性を踏まえた再生可能エネルギー源等の導入拡大

グリーン電力証書による市内の電力のグリーン化とともに、需要の喚起による再生可能エネルギー源の普及を図りました。

事業名	2012年度計画	2012年度実績
エコオフィス推進事業 〔環：地球環境推進室〕	●グリーン電力証書の購入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所庁舎：494,000 kW</li> <li>・イベント：12,150 kW</li> </ul>

### 指標の推移

施策課題	指標	計画策定時	現状	目標
Ⅲ-1	太陽エネルギー（太陽光・熱）利用量	太陽光発電設備容量： 3,069 kW ほか （2005 年度）	太陽光発電設備容量： 15,709 kW ほか （2012 年度）	2020 年度までに 2005 年度比 30 倍とする

## IV 低炭素都市づくりの推進

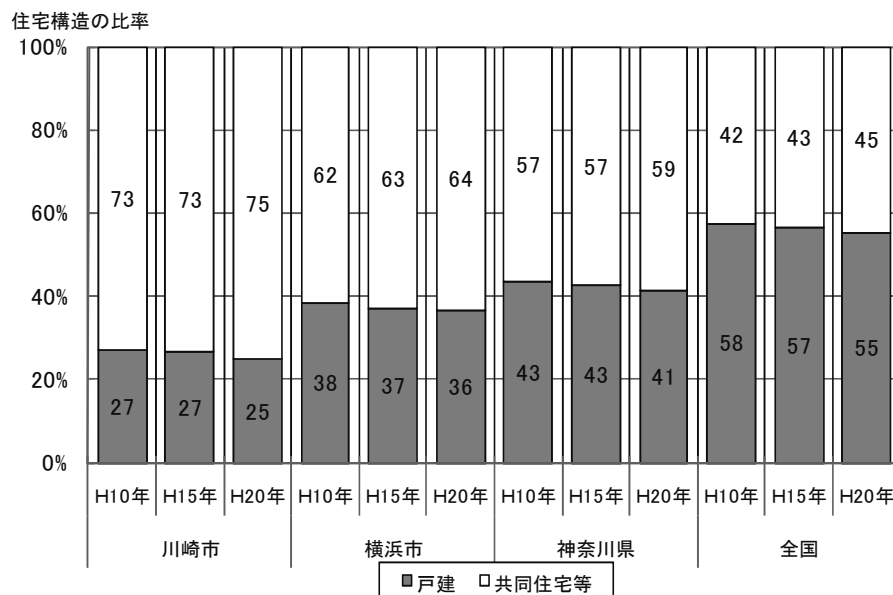
### 現状と課題

本市の住宅構造（戸建・共同住宅等）の比較では、全国平均に比べて戸建比率が非常に低く、共同住宅が多いこと、また、共同住宅の比率が上昇傾向にあることから、そのエネルギー効率は高く、上昇傾向にあるものと思われます。

本市では、地球温暖化対策推進条例に基づく開発事業地球温暖化対策計画書制度、一定規模以上の分譲共同住宅について性能表示を義務付けた建築物環境配慮制度（CASBEE川崎）や環境影響評価項目（温室効果ガス）、環境配慮項目（地球温暖化及びエネルギー）を設けている環境影響評価制度により、配慮を推進しています。

建築物の利用に起因する二酸化炭素排出量としては、民生部門（家庭系）、民生部門（業務系）などが想定されますが、人口増加や床面積の増加により大きく増加しており、エネルギー効率が低い中であっても、その削減が重要となっており、温室効果ガスの排出抑制に配慮した事業や建築を推進していく必要があります。

住宅構造の比較（戸数ベース）



### 基本的方向

- ◇ 低炭素都市づくりを誘導する。
- ◇ 面的な利用など、地区単位でエネルギーの有効利用を促す。
- ◇ 高いエネルギー効率を有する建築物の新築等を誘導する。

### 基本施策と施策課題

IV 低炭素都市づくりの推進

IV-1 面的な対策の推進

IV-2 高いエネルギー効率を有する建築物の誘導

## 施策課題ごとの実施状況

### IV-1 面的な対策の推進

開発事業地球温暖化対策計画書制度や環境影響評価制度などを適切に運用し、面的な対策を促すとともに、低炭素都市推進部会の検討事項等を再整理し、低炭素都市の推進に資する取組に関する検討等を実施しました。

事業名	2012年度計画	2012年度実績
地球温暖化対策事業 〔環：地球環境推進室〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>●開発事業地球温暖化対策計画書制度の運用</li> <li>●低炭素都市づくり方針の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開発事業地球温暖化対策計画書制度計画書提出件数：3件</li> <li>・低炭素都市推進部会の検討事項等を再整理し、低炭素都市の推進に資する取組に関する検討等を実施</li> </ul>
環境影響評価・環境調査事業 〔環：環境評価室〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境影響評価手続の運用</li> <li>●環境影響評価に関する条例の改正の取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定開発行為等の届出6件、環境影響評価図書・縦覧31件、審査書の公告8件、市長意見の公表1件を実施</li> <li>・環境影響評価に関する条例・同施行規則の改正</li> </ul>

【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012年度実施状況
地域地区等計画策定・推進事業 〔ま：都市計画課〕	市民の意見や関係権利者の合意を踏まえながら、地区計画や防火地域の指定など、地域地区等の決定・変更等を行う。また、環境配慮のまちづくり誘導制度等の調査・検討を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域地区・地区計画等検討調査・都市計画決定</li> <li>・環境配慮のまちづくり誘導制度等の素案の作成</li> </ul>

### IV-2 高いエネルギー効率を有する建築物の誘導

開発事業地球温暖化対策計画書制度などにより、環境にやさしい建築物の普及促進を図るとともに、低炭素都市推進部会の検討事項等を再整理し、低炭素都市の推進に資する取組に関する検討等を実施しました。

事業名	2012年度計画	2012年度実績
地球温暖化対策事業 〔環：地球環境推進室〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>●開発事業地球温暖化対策計画書制度の運用</li> <li>●低炭素都市づくり方針の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開発事業地球温暖化対策計画書制度計画書提出件数：3件</li> <li>・低炭素都市推進部会の検討事項等を再整理し、低炭素都市の推進に資する取組に関する検討等を実施</li> </ul>

【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012年度実施状況
建築物環境配慮推進事業 〔ま：建築指導課〕	建築物環境配慮制度（CASBEE川崎）を運用し、地球環境にやさしい建築物の普及促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物環境計画書 届出件数：82件</li> <li>・建築物環境配慮制度対象規模変更の説明会実施</li> </ul>
住宅政策調査等推進事業 〔ま：住宅整備課〕	住宅基本計画の改定を行うとともに、住宅基本計画に基づき、住宅及び住環境の整備に関する施策を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住生活総合調査結果の整理</li> <li>・住宅政策審議会の開催(3回)</li> </ul>
住宅・マンション支援推進事業 〔ま：住宅整備課〕	長期優良住宅や住宅性能表示制度等の住まい・まちづくりに関する講習会等を実施し、良質な住宅ストックの形成のための支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住まい・まちづくり講習会 2回開催</li> <li>・マンション管理セミナー2回開催</li> <li>・住まいアドバイザー派遣 76件</li> <li>・マンション管理相談の拡充(月2回→毎週)</li> </ul>

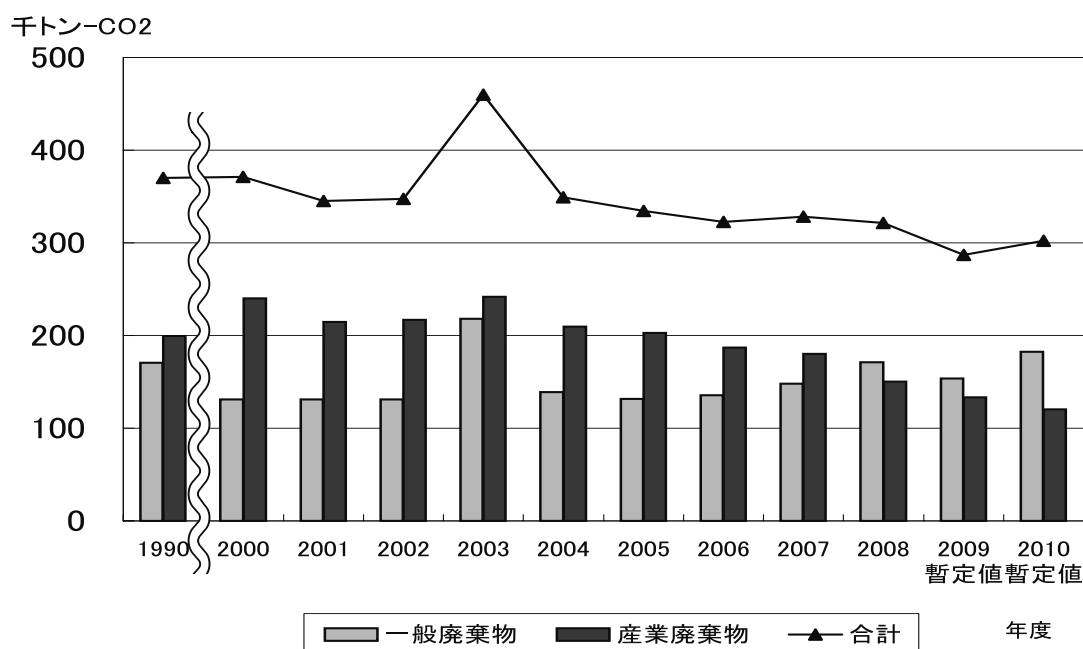
## V 循環型社会の形成の推進

### 現状と課題

2010 年度（暫定値）の廃棄物部門の二酸化炭素排出量は、1990 年度比で 18.3%の削減となっています。本市では、人口が増加している中であっても一般廃棄物の焼却量は減少しており、地球温暖化対策の取組に寄与していると考えられます。

2015 年度の廃棄物分野における温室効果ガス排出量を 35%削減する（2007 年度比）ことを指標としている川崎市一般廃棄物処理基本計画に基づく取組とともに川崎市産業廃棄物処理指導計画に基づく取組を推進することで、温室効果ガス排出量の削減を図ります。

廃棄物部門における二酸化炭素排出量の推移



### 基本的方向

- ◇ 指標※：2015 年度の廃棄物分野における温室効果ガス排出量を 35%削減する（2007 年度比）。
- ◇ 市民・事業者・行政による 3R を推進する。
- ◇ 廃棄物処理に伴う温室効果ガス排出量を削減する。

※川崎市一般廃棄物処理基本計画（2012 年一部（行動計画）改定）に基づく指標。

なお、一般廃棄物処理基本計画では、収集運搬や施設の電気使用等に伴う温室効果ガスも含めて算定している。

### 基本施策と施策課題

#### V 循環型社会の形成の推進

V-1 市民生活に係る廃棄物の 3R の推進

V-2 事業活動に係る廃棄物の 3R の推進

V-3 収集運搬等における温室効果ガス排出量の削減

V-4 焼却過程等における温室効果ガス排出量の削減

## 施策課題ごとの実施状況

### V-1 市民生活に係る廃棄物の3Rの推進

分別収集の拡充に係るフォローアップ広報を実施するとともに、出前ごみスクールを開催するなど3Rを推進しました。

事業名	2012年度計画	2012年度実績
普及広報活動事業 〔環：減量推進課〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ごみの分け方・出し方リーフレットの全戸配布</li> <li>●出前ごみスクール、ふれあい出張講座の開催</li> <li>●ミックスペーパー分別収集の全市実施後のフォローアップ広報の実施</li> <li>●プラスチック製容器包装の分別収集全市実施に向けた広報の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□資源物とごみの分け方・出し方               <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成部数：800,000部</li> </ul> </li> <li>□出前ごみスクール：122回</li> <li>□ふれあい出張講座：66回</li> <li>□ミックス・プラ分別収集啓発資料の作成数               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミックス・プラ啓発チラシ：280,000枚</li> <li>・集積所表示ボード：5,000枚</li> </ul> </li> <li>□広報の実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>・集積所等53回</li> <li>・区役所等119回</li> </ul> </li> </ul>
分別収集事業 〔環：収集計画課〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>●空き缶・空き瓶・ペットボトル・小物金属・ミックスペーパー・使用済み乾電池の分別収集の実施</li> <li>●プラスチック製容器包装分別収集の南部3区（川崎区、幸区、中原区）実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□分別収集量(回収量)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き缶：7,304トン/年(-8トン)</li> <li>・空きびん：11,653トン/年(+76トン)</li> <li>・ペットボトル：5,103トン/年(-64トン)</li> <li>・小物金属：2,692トン/年(+57トン)</li> <li>・ミックスペーパー：10,662トン/年(+44トン)</li> <li>・古紙：108トン/年(+10トン)</li> <li>・使用済み乾電池：245トン/年(-50トン)</li> </ul> </li> <li>□2011年3月からプラスチック製容器包装分別収集の南部3区（川崎区、幸区、中原区）実施分別収集量(回収量)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスチック製容器包装：3,811トン/年(-85トン)</li> </ul> </li> </ul>

#### 【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012年度実施状況
生ごみコンポスト容器 ・生ごみ処理機助成事業 〔環：減量推進課〕	家庭から発生する生ごみの減量化・資源化に向け、普及啓発及び生ごみ処理機等の購入助成を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>□コンポスト化容器               <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成基数：27基（設置基数累計：5,515基）</li> <li>・助成額：購入金額の2分の1（上限2万円）</li> </ul> </li> <li>□電動生ごみ処理機等               <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成基数：118基（設置基数累計：2,568基）</li> <li>・助成額：購入金額の2分の1（上限2万円）</li> </ul> </li> </ul>
生ごみ等リサイクル推進事業 〔環：減量推進課〕	生ごみリサイクルプランを推進するなど、一般廃棄物中で大きな割合を占める生ごみの減量化・資源化を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「かわさき生ごみリサイクルプラン」に基づく取組の実施</li> <li>・生ごみリサイクル推進モデル事業の実施、モデル事業の手法を活用した生ごみリサイクルの拡充に向けた調整</li> <li>・生ごみリサイクル活動活動助成制度の実施（9団体に交付）</li> <li>・生ごみリサイクルリーダーの認定・派遣（2名認定 計12名、派遣30件、電話相談2件）</li> <li>・大学と新たな連携に向けた覚書の締結</li> </ul>
廃棄物減量指導員活動事業 〔環：減量推進課〕	地域におけるごみ減量・リサイクルの推進に向けて、廃棄物減量指導員活動の活性化を進める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物減量指導員数：1,851名</li> <li>・市連絡協議会開催：4回</li> <li>・各区連絡協議会開催：24回</li> <li>・市・区施設見学会：12回</li> </ul>

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012 年度実施状況
橋リサイクルコミュニティセンター等運営事業 〔環：減量推進課〕	市民のリサイクル活動の拠点の提供と学習会等の実施により、ごみ減量・リサイクルの意識啓発を推進するとともに、指定管理者制度を活用した、効果的・効率的な施設運営を行う。	□取組状況（活動名、開催回数、参加者数） ・古着のリフォーム教室：10 回開催、計 66 人 ・牛乳パック工作教室：12 回開催、計 85 人 ・廃木材の木工教室：12 回開催、計 106 人 ・余り布の小物教室：11 回開催、計 80 人 ・エコぞうり教室：31 回開催、計 135 人 ・卓上機による裂き織り教室：13 回開催、計 112 人 ・石けん教室：7 回開催、計 414 人 ・紙すき教室：4 回開催、計 244 人 ・季節の風物詩教室：4 回開催、計 100 人 ・川崎市現況報告会：20 回開催、計 746 人 ・ごみ分別学習会：20 回開催、計 746 人
一般廃棄物処理業許可事務 〔環：廃棄物指導課〕	許可業者への指導・立入等を行う。	許可業者への指導立入 57 業者
廃棄物企画調整事務 〔環：廃棄物政策担当〕	循環型社会の構築と低炭素社会の実現に向けた廃棄物処理事業を推進するため、一般廃棄物処理基本計画に基づく取組を推進する。	一般廃棄物処理基本計画（かわさきチャレンジ・3R）の行動計画改定
資源化処理事業 〔環：処理計画課〕	空き缶・空き瓶・ペットボトル・ミックスペーパー・プラスチック製容器包装などの資源物の適正かつ安定的な処理及び資源化を実施する。	□処理量 ・空き缶・ペットボトル：5,474 t ・空き瓶：11,653 t ・ミックスペーパー：10,662 t ・プラスチック製容器包装：3,811 t ※空き缶・ペットボトルの処理量については北部地域分を除く
北部リサイクル推進事業 〔環：処理計画課〕	主に北部地域で分別収集された空き缶・ペットボトルのリサイクルを行う。	□処理量 ・空き缶・ペットボトル：6,933 t ※北部地域分の処理量のみ
家電リサイクル法関係事業 〔環：収集計画課〕	家電の適正なリサイクルの推進及び不法投棄された家電品の再商品化等を実施する。	・川崎方式で適正処理した指定 4 品目 725 台 ・市が適正処理した指定 4 品目（不法投棄分） 897 台
自動車リサイクル法関係事業 〔環：廃棄物指導課〕	登録・許可業者に対する立入検査を実施し、環境負荷の低減に向け、適正な処理と資源化の指導を行う。	立入検査実施件数 52 件

## V-2 事業活動に係る廃棄物の 3R の推進

事業系一般廃棄物の減量化・資源化等の推進に向けて、多量排出事業者等に対する立入調査などを実施しました。

事業名	2012 年度計画	2012 年度実績
事業系ごみ減量化推進事業 〔環：減量推進課〕	●多量排出事業者への立入調査など、排出事業者に対する指導の実施	排出事業者へのヒアリング（244 件）、立入調査（159 件）

### 【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012 年度実施状況
建設リサイクル事業 〔建：技術監理課〕	「建設リサイクル推進計画」に基づくリサイクルを推進する。	□再利用率 ・アスファルト・コンクリート塊：99.2% ・コンクリート塊：99.6% ・建設発生木材：93.5%
建設リサイクル法業務 〔ま：建築指導課〕 〔建：技術監理課〕	建設工事から発生する建設副産物のリサイクル率の向上を促進するための指導及び啓発活動を行い、生活環境の保全を図る。	届出件数：2,682 件（変更含）
産業廃棄物指導事業 〔環：廃棄物指導課〕	第 5 次産業廃棄物処理指導計画に基づき、産業廃棄物の 3R と適正処理の推進及び環境負荷の低減に向け、排出事業者等に指導を行う。	多量排出事業者、建設業者、PCB 保管事業者等、排出事業者への立入検査：324 件

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012 年度実施状況
産業廃棄物処理業許可事務 [環：廃棄物指導課]	関係法令を遵守させるため、産業廃棄物処理業者への立入検査を行う。	□許可手続の実施と申請時の立入検査・指導の実施 ・収集運搬業新規許可 6 件、更新許可 35 件、変更許可 11 件 ・処分業新規許可 2 件、更新許可 7 件、変更許可 6 件
産業廃棄物管理事業 [環：廃棄物指導課]	産業廃棄物処理許可業者に対する立入検査・指導を行い、許可業者による適正処理を推進する。	処理業者への立入検査：146 件
産業廃棄物処理施設設置許可事務 [環：廃棄物指導課]	産業廃棄物処理施設設置等の許可に係る指導等を行い、適正処理の推進を図る。	処理施設への立入検査：166 件

### V-3 収集運搬等における温室効果ガス排出量の削減

収集運搬等に係る温室効果ガス排出量を削減するため、使用実態に応じた車両の小型化などを進めました。

事業名	2012 年度計画	2012 年度実績
普通ごみ収集事業 [環：収集計画課]	●普通ごみの適正かつ効率的な収集運搬の実施 ●収集車両の小型車化の推進	普通ごみ収集車の小型化を高津区・宮前区で実施

【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012 年度実施状況
廃棄物鉄道輸送事業 [環：処理計画課]	廃棄物の効率的な処理のため、環境に優しい鉄道を用いて北部の廃棄物を南部に輸送する。	□輸送量 ◇鉄道輸送年間実績量（前年度差） ・一般ごみ：25,884.59 トン(+3,988.04 トン) ・空き缶・ペットボトル：1,324.98 トン （+103.31 トン） ・空き瓶：3,558.01 トン(+193.99 トン) ・ミックスペーパー：5,185.75 トン （+194.9 トン） ・焼却灰（ごみ焼却灰と飛灰の合計） ：21,099.34 トン(+505.17 トン） ◇年間輸送日数：308 日

### V-4 焼却過程等における温室効果ガス排出量の削減

3 焼却処理施設体制の構築に向けて、橋処理センター基本計画（素案）の策定や法令手続を進めるとともに、各処理センターの基幹的整備を行いました。

事業名	2012 年度計画	2012 年度実績
処理センター整備事業 [環：施設建設課]	●基本的な考え方を踏まえた新たな焼却処理施設の基本計画の策定 ●焼却処理施設整備に向けた法令手続	・橋処理センター基本計画（素案）の策定 ・橋処理センター整備に向けた法令手続
廃棄物処理施設基幹的整備事業 [環：施設整備課]	●浮島処理センター基幹的整備の完了 ●3 焼却処理施設体制構築に向けた処理センターの大規模整備着手	・浮島処理センター基幹的整備工事完了 ・堤根処理センター基幹的整備の 1 号炉集じん設備工事等を完成

【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012 年度実施状況
余熱利用市民施設運営事業 [環：減量推進課]	ごみ焼却の余熱の有効利用と、指定管理者制度を活用した、効果的・効率的な施設運営を行う。	ヨネッティー堤根、ヨネッティー王禅寺での温水プール等への余熱利用
環境マネジメントシステム管理事業 [環：処理計画課]	ごみ焼却施設の環境対策に対する市民の信頼を確保するため、自己適合宣言による環境マネジメントシステムを継続運用し、適正に管理する。	・自己適合宣言の維持 浮島、堤根、橋処理センター（2012 年 10 月から 12 月に適合監査の実施）
廃棄物処理施設等整備事業 [環：施設整備課]	廃棄物処理事業を安定的かつ円滑に進めるため、廃棄物関連施設の補修及び整備工事を実施する。	各施設の補修及び整備工事を実施



## 指標の推移

施策課題	指標	計画策定時	現状	目標
V-1	ごみ焼却量	420,517トン (2009年度)	392,926トン (2012年度)	2013年度までに37万トン(*)
上記目標の達成に向けて、次の点に留意するものとする				
—	市民一人一日当たりのごみ排出量	1,069g (2009年度)	1,021g (2012年度)	2013年度までに1,128g(*)
	資源化量・率	129,351トン、 23.5%(2009年度)	143,054トン、 26.7%(2012年度)	2015年度までに20万トン(資源化率35%)(*)
V-2	産業廃棄物排出量	2,869千トン (2009年度)	1,969千トン (2012年度) (***)	2014年度における排出量について、2009年度の排出量を維持(**)
	産業廃棄物再生利用率	50.5%(2009年度)	38.8%(2012年度) (***)	2014年度までに約53%(**)
V-4	市の処理センターでの廃棄物焼却における温室効果ガス排出量	164,866トン-CO <sub>2</sub> (2009年度)	189,128トン-CO <sub>2</sub> (2012年度)	—

\* 「川崎市一般廃棄物処理基本計画（かわさきチャレンジ・3R）」に基づく目標数値

\*\* 「第5次川崎市産業廃棄物処理指導計画」に基づく目標数値

\*\*\* 多量排出事業者等が提出する廃棄物処理計画実施状況報告に基づく集計値によるもの

各指標の現状が示す数値は、産業廃棄物処理指導計画の策定にあたり、基礎資料を得るため、業種別の特性や規模別の特性を考慮した上で実施した産業廃棄物実態調査に基づく推計値で、5年毎に実施しているものです。

それに対して、目標・指標の達成状況として示す数値は、多量排出事業者等が提出する処理状況報告書から、排出量、再生利用率、最終処分量を求めたもので、同じ多量排出事業者における経年経過を比較するものではないことから、目標・指標の達成状況を評価する正確な数値ではなく、参考として示しています。

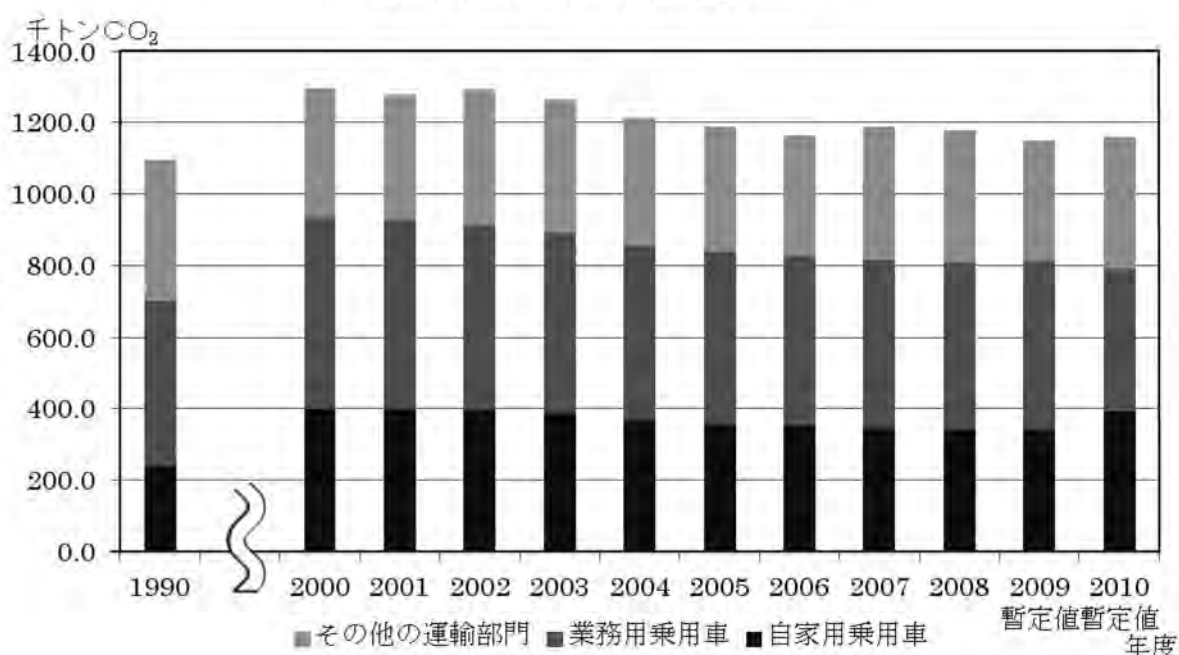
## VI 交通における地球温暖化対策の推進

### 現状と課題

2010年度（暫定値）の運輸部門の二酸化炭素排出量は、1990年度比で6.0%の増加となっています。自動車の利用に伴う二酸化炭素排出量は、運輸部門の排出量の68.0%を占めているほか、2010年度（暫定値）の自家用自動車の利用に伴う排出量については、1990年度比で64.8%の増加となっています。

運輸部門の二酸化炭素排出量は2000年度以降減少傾向にあるものの、その削減は重要であることから、具体的な対策を講じていくことが求められます。

運輸部門の二酸化炭素排出量の推移



### 基本的方向

- ◇ 環境や人にやさしい交通ネットワークを構築する。
- ◇ 公共交通機関に依拠した交通ネットワークを構築する。
- ◇ 自動車から発生する温室効果ガス排出量の削減を推進する。

### 基本施策と施策課題

#### VI 交通における地球温暖化対策の推進

VI-1 環境にやさしい交通ネットワークの構築

VI-2 公共交通機関の利便性の向上

VI-3 自動車単体対策の推進

VI-4 自転車等の通行空間の確保

## 施策課題ごとの実施状況

### VI-1 環境にやさしい交通ネットワークの構築

「川崎市総合都市交通計画」を策定するとともに、幹線道路の交通円滑化に向けた効果的な整備を進めました。また、事業者の自主的な取組の促進に向けた交通環境配慮行動メニューの普及啓発や、環境ロードプライシングの拡充に向けた関係機関との調整などを行いました。

#### (1) 広域公共交通機関の整備による取組

事業名	2012 年度計画	2012 年度実績
総合的な交通体系調査事業 [ま：交通政策室]	●総合都市交通計画の検討・策定	2013年3月に「川崎市総合都市交通計画」を策定

#### (2) 交通幹線網の整備による取組

事業名	2012 年度計画	2012 年度実績
川崎縦貫道路の整備 [建：広域道路課]	●I期事業の整備促進 ●II期計画の早期具体化に向けた取組の推進	・I期区間 浮島～大師：供用済 大師～国道15号：事業促進 ・II期区間 国道15号～東名高速道路：ルート・構造等の見直しの検討
道路改良事業（国県道） [建：道路整備課]	●国・県道の道路改良事業の推進	国道409号、横浜生田、上麻生連光寺等の整備（道路拡幅等）
街路整備事業 [建：道路整備課]	●都市計画道路整備事業の推進	□尻手黒川線、東京丸子横浜線、世田谷町田線等の整備 ・計画延長 304,800m ・整備済み 203,472m ・整備率 67%
京浜急行大師線連続立体交差事業 [建：道路整備課]	●段階的整備区間（東門前駅～小島新田駅間）の事業推進 ●鈴木町駅～東門前駅間の整備に向けた取組の推進 ●第2期事業区間（別線区間）における関連事業等との調整	・東門前駅から小島新田駅間の整備 ・鈴木町駅～東門前駅間の整備に向け関係機関と調整 ・第2期事業区間（別線区間）については、事業環境を整えるため関係機関と調整
JR南武線連続立体交差事業 [建：企画課]	●JRや国、横浜市など関係機関との調整（合意形成に向けた取組） ●事業実施に向けた調査・検討（事業採算性等の検討）	・JR東日本との協定成果に基づき、事業実施に向けた課題を整理するとともに、事業計画案のとりまとめや今後の取組の方向性を確認 ・事業計画案や事業採算性等の検討結果をもとに、関係機関との合意形成に向けた調整を実施

#### 【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012 年度実施状況
広域道路対策事業調査 [建：広域道路課]	本市の幹線道路のあり方の検討を進めるとともに、国道409号（国道15号～国道1号）を含む川崎駅周辺の交通円滑化整備の検討を推進する。	川崎競馬場前交差点の渋滞緩和に向け、過年度に実施した車道拡幅事業について、効果検証を実施し、渋滞緩和効果の発現を確認
道路計画調査事業 [建：企画課]	道路整備プログラムの適切な進行管理を行うとともに、今後の道路整備の円滑な推進とあわせて計画的な管理の手法等について検討を進める。	・プログラム（後期）の進行管理 ・渋滞対策案の検討

#### (3) 地域環境対策の推進による取組

事業名	2012 年度計画	2012 年度実績
交通需要管理推進事業 [環：交通環境対策課]	●交通環境配慮行動メニューの普及拡大、新たなメニューの検討 ●環境ロードプライシングの拡充に向けた検討 ●自動車公害防止計画の見直しの実施	・交通環境配慮行動メニューについて、普及拡大を図りつつ、関係機関等へのヒアリングを実施し、新規メニューを作成 ・環境ロードプライシングについて、高速湾岸線の効果的活用を含め、更なる拡充について、関係機関等との調整や働きかけを実施 ・自動車公害防止計画の見直しを行い、かわさ

事業名	2012 年度計画	2012 年度実績
		き自動車環境対策推進協議会を設立するとともに、協議会がかわさき自動車環境対策推進プランを策定

#### (4) その他の取組

##### 【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012 年度実施状況
駐車場整備計画業務 (駐車施設整備推進事業) [ま: 交通政策室]	駐車場法及び条例に基づく駐車場設置に係る協議・指導を行い、適正な規模等の誘導を図る。	・駐車場法、条例及び要綱等による駐車場の整備を指導
交差点改良事業 [建: 道路施設課]	交差点のコンパクト化、生活道路のカラー化等交差点改良により安全性の向上及び移動の円滑化を図る。	交差点改良: 20 か所 (国道 132 号 他)
道路改良事業 (市道) [建: 道路施設課]	地域の特性に応じた歩車道の拡幅・電線類の地中化などを行い、安全で快適な地域の交通環境を確保する。	事業の推進: 南幸町渡田線 (電線共同溝) 事業の推進: 宮前 6 号線他
臨海部交通アクセス円滑化調査事業 [ま: 交通政策室]	総合都市交通計画における臨海部全体の交通ネットワークの検討を踏まえ、交通アクセス向上を図るため、京急大師線とバスの乗継ぎ円滑化方策等の調査、検討を進める。	・京急大師線沿線及び川崎駅周辺における路線バスや企業バスの発着に関する検討・調整を実施 ・臨海部の企業動向に合わせた通勤交通の対応を図るため、東扇島地区を中心とする従業員増加に合わせた、バス輸送を増強する取組を推進

## VI-2 公共交通機関の利便性の向上

駅前周辺等の整備を進めるなど、公共交通機関の利便性の向上に取り組みました。

### (1) 広域拠点の形成による取組

事業名	2012 年度計画	2012 年度実績
川崎駅周辺総合整備事業 [ま: 市街地整備推進課]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「川崎駅周辺総合整備計画」に基づく取組の推進</li> <li>●「川崎駅周辺総合整備計画」の改訂に向けた検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北口第 2 街区 1 1 番地地区の完成</li> <li>・北口第 2 街区歩行者専用道路の整備・完成</li> <li>・川崎駅周辺総合整備計画見直しの推進</li> </ul>
川崎駅西口地区住宅市街地総合整備事業 [ま: 市街地整備推進課]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●工事着手 (ミューザ川崎と堀川町 C 地区連結ペデストリアンデッキ)</li> <li>●中幸町歩行者専用道路等整備・完成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミューザ川崎と堀川町 C 地区連結ペデストリアンデッキ整備に関する地権者同意への調整</li> <li>・中幸町歩行者専用道路等用地取得交渉</li> </ul>
京急川崎駅周辺地区整備事業 [ま: 市街地整備推進課]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●整備方針の検討</li> <li>●民間開発の誘導・支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「整備方針」の策定に向けた関係者調整を行い、道路等基盤施設整備の方向性を整理</li> <li>・当地区まちづくりの先行的な取組となる「通行環境改善計画」の策定に向けた関係者調整の実施</li> <li>・民間再開発事業等の事業化に向け、権利者主体の地元組織の設立等の準備を支援</li> </ul>
JR 川崎駅北口自由通路等整備事業 [ま: 市街地整備推進課]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新たな改札口とあわせた北口自由通路の詳細設計</li> <li>●用地取得</li> <li>●自由通路部の工事着手</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詳細設計完了</li> <li>・8 月に都市計画決定告示を行い、神奈川県より都市計画事業認可を取得</li> <li>・東側階段部の用地取得を行うとともに、JR 東日本と施行協定を締結し、事業着手</li> </ul>

##### 【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012 年度実施状況
小杉駅周辺交通機能整備事業 [ま: 小杉駅周辺総合整備推進室]	隣接都市拠点との連絡性と、小杉周辺地区の広域的な都市機能の向上などを図る JR 横須賀線・武蔵小杉駅を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新中原図書館を含む施設建築物工事完成</li> <li>・JR 南武線と東急東横線を結ぶ連絡通路の改修工事完成</li> <li>・南口地区東街区の駅前広場地下駐輪場が一部供用開始</li> </ul>

## (2) 地域生活拠点の整備による取組

事業名	2012年度計画	2012年度実績
鹿島田駅周辺地区整備事業 〔ま：市街地整備推進課〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>●整備促進（施設建築物）</li> <li>●整備促進（公共施設）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅棟、生活利便施設棟の工事着手</li> <li>・新川崎駅側歩行者デッキの整備着手</li> </ul>
溝口駅南口広場整備事業 〔建：道路整備課〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>●駐輪場の工事着手</li> <li>●南口広場整備に向けた関係機関との協議、調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地下に約1900台収容の駐輪場の整備計画を策定し、工事着手</li> <li>・南口広場整備に向けた交通管理者やバス事業者、タクシー協会との協議・調整を実施</li> <li>・低炭素・省資源社会の実現等に向けた取組を行っている「エコシティたかつ」の導入に向け、高津区役所との調整を開始</li> </ul>
登戸地区土地区画整理事業 〔ま：登戸区画整理事務所〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>●整備効果の高い箇所の重点的な整備</li> <li>●早期の工事概成に向けた新たな取組の推進</li> <li>●工事着手（小泉橋架替）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物等の移転及び公共施設等整備の実施</li> <li>・仮換地指定 約7,300㎡</li> <li>・小泉橋架け替え工事着手</li> <li>・登戸土地区画整理事業整備プログラム（案）の策定</li> </ul>
向ヶ丘遊園駅連絡通路等整備事業 〔ま：交通政策室〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>●整備（向ヶ丘遊園駅連絡通路）</li> </ul>	連絡通路設置に必要となる小田原方の既設ホーム撤去を実施

### 【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012年度実施状況
新川崎地区整備事業 〔ま：市街地整備推進課〕	商業・業務機能、都市型住宅機能の導入と研究開発機能の拡充をめざし、民間開発を適切に誘導するとともに、都市基盤整備を進め、拠点形成を推進する。	<input type="checkbox"/> 新川崎地区地区計画に基づく土地利用誘導 <input type="checkbox"/> 都市基盤整備工事 <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通広場及び駐輪場整備実施設計完了</li> <li>・鹿島田跨線歩道橋設置上部工事のうち桁工事完了、橋面工事着手</li> </ul>
柿生駅周辺地区再開発等事業 〔ま：市街地整備推進課〕	地域の意向を踏まえ、駅前にふさわしい土地利用、商店街の活性化等を図り、快適で安全な魅力あるまちづくりを推進する。	<input type="checkbox"/> 事業推進に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業推進方策の検討</li> <li>・権利者調整（まちづくり協議会等）</li> </ul> <input type="checkbox"/> バス暫定広場の維持管理

## (3) 広域公共交通機関網の整備による取組

事業名	2012年度計画	2012年度実績
総合的な交通体系調査事業 〔ま：交通政策室〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>●総合都市交通計画の検討・策定</li> </ul>	2013年3月に「川崎市総合都市交通計画」を策定

### 【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012年度実施状況
民鉄複々線化等鉄道輸送力の向上促進 〔ま：交通政策室〕	首都圏の鉄道ネットワークのあり方を踏まえて、鉄道利用者の利便性向上をめざし、鉄道事業者による輸送力増強への取組を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京浜急行線の横浜・川崎方面から羽田空港方面への直通線であるエアポート急行の運行本数の増加</li> </ul>
都市交通計画関連事業 〔ま：交通政策室〕	新規に整備する鉄軌道系公共機関の建設及び交通基盤強化のため、鉄道整備事業基金の積立を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経費の適正な執行</li> <li>・利子積立の実施</li> </ul>

## (4) その他の取組

### 【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012年度実施状況
民営鉄道駅舎エレベーター等設置事業 〔ま：交通政策室〕	民営鉄道事業者が市内の駅舎にエレベーター等を設置する費用の一部を助成し、高齢者や障害者をはじめとするすべての人が利用しやすい駅舎の整備を支援する。	<input type="checkbox"/> 民営鉄道駅舎エレベーター等の設置補助 <ul style="list-style-type: none"> <li>・エレベーター等の設置補助件数：32駅 (+1 駅)</li> <li>・エレベーター：76基 (+2基)</li> <li>・エスカレーター：14基 (±0基)</li> </ul>

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012年度実施状況
民営ノンステップバス導入促進事業 [ま：交通政策室]	民営バス事業者のノンステップバスの導入を促進し、高齢者や障害者など誰もが利用しやすい移動手段の確保を図る。	ノンステップバス導入補助：2両
南武線駅アクセス向上等整備事業 [ま：交通政策室]	駅へのアクセス性を向上し、鉄道による地域分断の改善や利用者の安全性・利便性の向上を図る。	・稲田堤駅の橋上駅舎化の概略設計着手 ・津田山駅の橋上駅舎化の共同事業の合意形成、概略設計着手
公共交通の移動円滑化の促進 [ま：交通政策室]	利用しやすい交通環境整備の一環として、拠点駅のバスターミナルを中心にバスロケーションシステム導入補助を行い、公共交通機関の利便性の向上などの取組を促進する。	バス停留所表示機5基の導入
市バスナビの充実 [交：運輸課]	全路線でサービスを行っている市バスナビの充実を図る。	・「市バスナビ」を全営業所で展開中（2007年10月導入） ・停留所表示器の設置（3か所）
バリアフリーや環境に配慮した市バス車両の整備 [交：運輸課]	環境に配慮した低公害型バス市バス車両の導入など市バス車両を人と環境にやさしい車両に更新・導入する。	□バス車両導入車件数 ・バス車両の整備（車両導入7両） ノステップバス（低公害型）：7両 （うちハイブリッドバス6両）
市バス路線・ダイヤの充実 [交：運輸課]	需要に応じたバス運行の改善を図るため、路線再編等を検討・実施する。	西加瀬循環線、神明町・久地・新城線、水江町・扇町線、埠頭・東扇島循環線のダイヤ改正の実施
運輸安全マネジメントの推進 [交：安全指導課]	運輸安全マネジメントに基づき、輸送の安全性の向上に向けた取組を実施する。	・輸送の安全に関する施策の実施 ・安全対策の検証及び改善

### VI-3 自動車単体対策の推進

電気自動車の普及に向けた助成制度を実施するとともに、エコドライブの促進を図るなど、燃料使用量の削減による二酸化炭素排出量の削減を促しました。

事業名	2012年度計画	2012年度実績
低公害車普及促進事業 [環：交通環境対策課]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電気自動車導入助成の実施</li> <li>●倍速充電スタンド導入助成の実施</li> <li>●エコ運搬制度の運用</li> <li>●エコドライブの普及促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気自動車導入助成制度：54台</li> <li>・倍速充電スタンド導入助成制度：3件</li> <li>・エコ運搬制度の運用：報告書提出123事業者</li> <li>・エコ運搬フォーラムの開催</li> <li>・川崎市市内エコ運搬制度実施方針に基づく市内での取組推進</li> <li>・エコドライブ講習会（12回開催）</li> </ul>
地球温暖化対策事業 [環：地球環境推進室]	●事業活動地球温暖化対策計画書制度の運用・見直しの検討	□計画書・報告書提出件数（第3号該当者） ・結果報告書：14件 ・立入調査件数：2件

#### 【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012年度実施状況
バリアフリーや環境に配慮した市バス車両の整備 [交：運輸課]	環境に配慮した低公害型バス市バス車両の導入など市バス車両を人と環境にやさしい車両に更新・導入する。	□バス車両導入車件数 ・バス車両の整備（車両導入7両） ノステップバス（低公害型）：7両 （うちハイブリッドバス6両）
ディーゼル車対策事業 [環：交通環境対策課]	自動車からの窒素酸化物等の削減に向け、低公害車などへの代替を進める事業者支援や運行規制による車両の監視等を行う。	□指定低公害車市内登録数（九都県市調べ）：246,312台（2012年3月末） ・低公害車の導入促進 補助台数6台 □県条例によるディーゼル車運行規制に係る検査数 ・路上検査：7か所、81台 ・拠点検査：10か所、329台

## VI-4 自転車等の通行空間の確保

誰もが安心して快適に歩ける歩行空間や自転車通行帯の整備等の取組を推進しました。

【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012年度実施状況
自転車通行環境整備事業 [建：企画課]	自転車の通行環境を先行整備と計画的な整備の両面から実施し、安心して通行できる道路空間を形成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京急川崎駅周辺地区通行環境改善計画策定</li> <li>・市役所通りの通行環境整備の着手</li> <li>・緊急対策箇所の整備着手</li> </ul>
歩道設置事業 [建：道路施設課]	歩行者と自転車交通の分離や段差解消を図ることで歩行者が安全で安心して移動できる歩道空間を創出する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道整備延長 主要地方道鶴見溝ノ口ほか：459.1km (+4.2km)</li> </ul>

## 指標の推移

施策課題	指標	計画策定時	現状	目標
VI-2	公共交通機関利用者数（市バス）	45,621,65人 （2009年度）	市バス利用者数 4705万人 （2012年度）	—
	バリアフリー導入施設数	民営鉄道駅舎エレベーター等設置補助数： エレベーター67基、 エスカレーター14基 （2009年度）	民営鉄道駅舎エレベーター等設置補助数： エレベーター76基、 エスカレーター14基 （2012年度）	—
VI-3	低公害・低燃費車の普及台数	市内の電気自動車導入台数：24台（2009年度） 市内のハイブリッド登録台数：4,303台（2008年度末）	2011年度の電気自動車の普及台数は260台、ハイブリッド車の普及台数は14,899台（2011年度）	低公害・低燃費車の導入を促進すること
VI-4	自転車道総延長	自転車道：12,612m （2010年4月現在）	自転車道：4,120m （2012年末現在） （*）	—

\*2012年11月に、国により「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」が策定され、自転車道の定義付けが変更になりました。

## Ⅶ 地球環境に係る環境教育・環境学習の推進

### 現状と課題

地球温暖化の問題については、事業活動や市民生活を通じて起こる環境への負荷に起因していることから、各主体の役割に応じて、削減を進めていくことが重要であり、地球環境に対する責任と役割について理解と認識を深め、具体的な行動につなげ、環境に配慮したライフスタイルを構築していくことが求められます。このため、市民一人ひとりに環境配慮の意識を定着させる環境教育・環境学習の取組を推進する必要があります。

こうしたことから本市では、川崎市環境教育・学習基本方針に基づく取組を進めてきました。

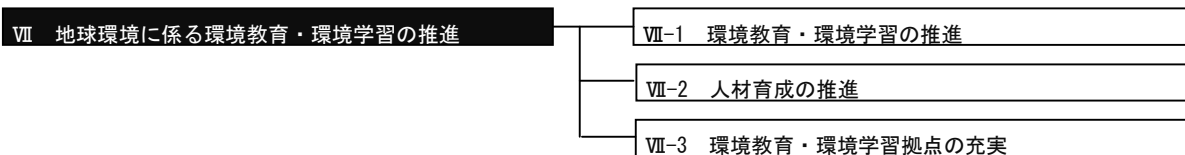
### 2012 年度における環境教育・環境学習の実施状況

環境教育・学習の分類		事業の例	事業数
1 一般市民・事業者等への学習機会の提供	(1) 講座・講習会(募集型)	CCかわさき交流コーナーを活用した普及啓発の取組等	22
	(2) 講座・講習会(講師派遣型)	エコ・クッキング、ふれあい出張講座、環境出前講座等	5
	(3) 普及啓発・イベントの開催	水辺の楽校、緑のカーテン大作戦等	40
2 一般市民・事業者等への学習機会の提供	(1) 学校等教育機関での環境教育・学習の充実	出前ごみスクール、浄水場施設見学等	15
	(2) 学習教材の作成	環境副読本、幼児環境教育プログラム等	8
3 一般市民・事業者等への学習機会の提供	(1) 人材育成支援	中国瀋陽市環境技術研修等	4
	(2) 活動資金等支援	かわさき市民公益活動助成金等	2
	(3) 活動拠点・啓発施設の運営等	夢見ヶ崎動物公園等	1
4 その他		職員に対する家庭エコ診断等	8

### 基本的方向

- ◇ 事業者、市民に、地球環境に配慮した考え方や行動の定着を促す。
- ◇ 環境学習活動等を率先して行う人材を育成する。
- ◇ 環境問題の科学的な理解を促す。

### 基本施策と施策課題





## 施策課題ごとの実施状況

### Ⅶ-1 環境教育・環境学習の推進

環境に配慮した行動をとることができる人間の形成をめざし、地球温暖化対策に関する普及啓発などに取り組みました。

事業名	2012年度計画	2012年度実績
協働による地球環境配慮の推進 〔環：地球環境推進室〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>●川崎市地球温暖化防止活動推進センターを核とした協働の取組の推進</li> <li>●川崎市地球温暖化防止活動推進員の委嘱、推進員による温暖化防止活動の促進</li> <li>●CCかわさき交流コーナーでの普及啓発活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会・自治会等での省エネ・節電学習会の実施、環境イベントへの出展</li> <li>・川崎市地球温暖化防止活動推進員制度を開始し、77名を委嘱 推進員を中心とした実践活動プロジェクト等を通じた出前講座の実施や環境イベントへの出展</li> <li>・CCかわさき交流コーナーにおけるテーマ展示（毎月）、ミニ講座等の実施（月1回） 夏休みの自由研究相談と講座の実施（12回）</li> </ul>
再生可能エネルギー推進事業 （環境エネルギー推進事業） 〔環：地球環境推進室〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「かわさきエコ暮らし未来館」の運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「かわさきエコ暮らし未来館」 累計来館者約35,000人 環境教室の開催：5回</li> </ul>

#### 【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012年度実施状況
環境教育推進事業 〔環：環境調整課〕	市民・事業者に環境配慮の考え方・行動が定着することをめざし、教材プログラム、人材育成、情報発信を充実する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域環境リーダー育成講座修了生15名</li> <li>・幼児環境教育の推進</li> <li>・小中学校「環境副読本」教材作成・配布</li> </ul>
公害研究所環境学習事業 （環境総合研究推進事業） 〔環：環境総合研究所〕	研究所の研究成果を活かした環境教育・学習を推進するとともに、市民等の環境保全活動等への支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンラボ：台風により中止</li> <li>・環境科学教室：参加数約48人</li> <li>・環境セミナー：参加数約8人</li> </ul>
広報広聴事業 〔上下水：サービス推進課〕	上下水道事業における環境保全の取組などを情報提供することなどにより市民の上下水道事業への理解を促す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生社会科副読本「川崎市の水道」及び「川崎市の下水道」の無償配付（対象 小学4年生全員）</li> <li>・水道週間行事の開催（施設見学会、上下水道作品コンクールの開催、かわさきみずみずフェアの実施）</li> <li>・区民祭等でのPRの実施</li> <li>・各種パンフレット・リーフレットの作成配布等</li> <li>・上下水道局広報紙「かわさきの上下水道」</li> <li>・インターネットホームページ</li> <li>・川崎国際環境技術展等への出展</li> <li>・水道出前教室及び下水道出前教室の実施</li> </ul>
水辺の楽校協議会支援事業 〔建：多摩川施策推進課〕	多摩川の持つさまざまな資源を小中学生を中心に体験的に学習する事業を行う。	市内3校（かわさき、とどろぎ、だいし）で計51回実施、延べ2,641人が参加
多摩川エコミュージアムプラン推進事業 〔建：多摩川施策推進課〕	多摩川シンポジウム事業、環境学習、環境教育の推進事業など、多摩川プランに基づく取組を推進する。	NPOや市民団体と市の協働のルールによる協定書に基づき各種事業の実施

## Ⅶ-2 人材育成の推進

地域の中で自発的に環境問題への取組が促進されるような地域環境リーダーを育成するとともに、情報発信などを通して市民活動を促進し、各主体間の連携強化に取り組みました。

事業名	2012年度計画	2012年度実績
協働による地球環境配慮の推進 〔環：地球環境推進室〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>●川崎市地球温暖化防止活動推進センターを核とした協働の取組の推進</li> <li>●川崎市地球温暖化防止活動推進員の委嘱、推進員による温暖化防止活動の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会・自治会等での省エネ・節電学習会の実施、環境イベントへの出展</li> <li>・川崎市地球温暖化防止活動推進員制度を開始し、77名を委嘱</li> <li>推進員を中心とした実践活動プロジェクト等を通じた出前講座の実施や環境イベントへの出展</li> </ul>

### 【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012年度実施状況
環境教育推進事業 〔環：環境調整課〕	市民・事業者に環境配慮の考え方・行動が定着することをめざし、教材プログラム、人材育成、情報発信を充実する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域環境リーダー育成講座修了生15名</li> <li>・幼児環境教育の推進</li> <li>・小中学校「環境副読本」教材作成・配布</li> </ul>
環境功労者表彰事業 〔環：庶務課〕	環境に配慮した活動を実践する市民・事業者等に謝意を示すとともに、環境配慮の行動が全市的に広がることを目的に表彰を行う。	表彰件数：41組

## Ⅶ-3 環境教育・環境学習拠点の充実

環境総合研究所の整備など、環境教育・環境学習を推進する拠点の充実に向けた取組を推進しました。

事業名	2012年度計画	2012年度実績
協働による地球環境配慮の推進 〔環：地球環境推進室〕	●川崎市地球温暖化防止活動推進センターを核とした協働の取組の推進	町内会・自治会等での省エネ・節電学習会の実施、環境イベントへの出展
再生可能エネルギー推進事業 (環境エネルギー推進事業) 〔環：地球環境推進室〕	●「かわさきエコ暮らし未来館」の運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「かわさきエコ暮らし未来館」</li> <li>累計来館者約35,000人</li> <li>環境教室の開催：5回</li> </ul>
環境総合研究所整備事業 (環境総合研究推進事業) 〔環：環境総合研究所〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境総合研究所の開設・運営</li> <li>・多様な主体と連携した環境教育・学習の実施など</li> <li>●産学公民連携による環境技術や研究開発の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2013年2月に環境総合研究所開設</li> <li>・6件の共同研究の実施及び研究成果を発信するためのセミナーを開催</li> </ul>

## 指標の推移

施策課題	指標	計画策定時	現状	目標
Ⅶ-1	環境関連施設利用者数(環境学習センター等入館者数)	生活環境学習室：3,706人 橋りサイクルコミュニティセンター学習室：103人(2009年度)	エコ暮らし未来館：18,108人 橋りサイクルコミュニティセンター学習室：195人(2012年度)	—
	環境教育・環境学習に関する講座・講習会開催状況	出前ごみスクール：78回ほか(2009年度)	出前ごみスクール122回、ふれあい出張講座66回開催(2012年度)	—
Ⅶ-2	環境学習活動や環境保全活動等の人材育成講座の修了生数	地域環境リーダー育成講座修了生人数：226人ほか(2009年度)	地域環境リーダー、緑化推進リーダー、里山ボランティア等の人材育成講座修了生：延べ439人(2012年度)	2010年度から2020年度までに延べ800人

## Ⅷ 緑の保全及び緑化の推進

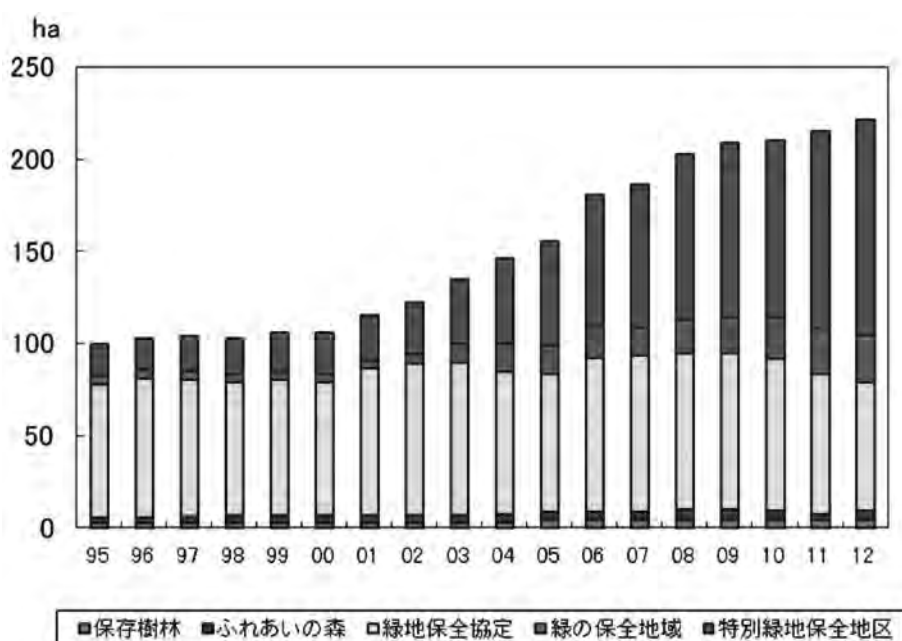
### 現状と課題

本市では、市域の多くが市街化区域となっており、土地利用転換により、樹林地や農地は減少傾向となっています。

一方で、緑の保全や緑化の推進は、二酸化炭素吸収源の観点から期待されるとともに、ヒートアイランド対策の一環として、緑地の確保や水辺環境を保全していくことが重要です。

こうした中で、本市では、緑地や農地保全などにより、公園緑地や緑化などの緑のインフラを保全・創出するとともに、屋上緑化や緑の活動団体への助成を行っています。また、多摩川を最大限に活用するため多摩川プランを策定し様々な施策を展開しています。

保全されている樹林地の面積



### 基本的方向

- ◇ 目標※：2017年度までに行政が主体的に取り組む緑のインフラの保全と創出として約1820haを目指す。
- ◇ 樹林地等における緑の保全と育成を進める。
- ◇ 公共空間や都市拠点における緑化を進めるとともに、民有地の緑化を促す。  
※川崎市緑の基本計画における目標数値

### 基本施策と施策課題

#### Ⅷ 緑の保全及び緑化の推進

Ⅷ-1 緑の保全と育成

Ⅷ-2 緑化の推進

Ⅷ-3 公園緑地の整備

Ⅷ-4 水辺空間の利用

## 施策課題ごとの実施状況

### Ⅷ-1 緑の保全と育成

本市に残された緑の保全と育成のため、さまざまな制度を活用した緑地保全に向けた取組を進めるとともに、都市農地の良好な保全に向けた取組を進めました。

#### (1) 緑地の保全による取組

事業名	2012 年度計画	2012 年度実績
緑地保全事業 [建：緑政課]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●特別緑地保全地区の指定拡大</li> <li>●緑の保全地域の指定拡大</li> <li>●緑地保全協定の締結推進</li> <li>●ふれあいの森の契約の締結推進</li> <li>●計画的な特別緑地保全地区の用地取得</li> <li>●特別緑地保全地区の整備実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別緑地保全地区指定数、面積 66 か所、117.2ha (+10.2ha)</li> <li>・緑の保全地域指定数、面積 27 か所 (+2 か所)、25.4ha (+0.8ha)</li> <li>・緑地保全協定数、面積 127 件 (-1 件)、69.8ha (-6.2ha)</li> <li>・ふれあいの森契約数、面積 11 か所 (+1 か所)、5.1ha(+0.1.ha)</li> <li>・保全緑地取得面積 87.6ha (+3.0ha)</li> <li>・特別緑地保全地区の整備 8 か所</li> </ul>

#### 【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012 年度実施状況
保全緑地管理事業 [建：緑政課]	保全施策の講じられた樹林地等について、植生の管理及び安全の観点も含めて、市民協働により適切に維持管理を行う。	<input type="checkbox"/> 保全管理計画 2 地区策定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・保全管理計画作成地区名 向原の里特別緑地保全地区 小沢城址特別緑地保全地区 おっ越し山緑の保全地域 久地特別緑地保全地区 多摩特別緑地保全地区 菅馬場谷特別緑地保全地区 黒川広町緑の保全地域 南野川・野川特別緑地保全地区 岡上和光山緑の保全地域 神庭特別緑地保全地区 岡上梨子ノ木特別緑地保全地区 久末特別緑地保全地区 黒川よこみね特別緑地保全地区 菅生ヶ丘特別緑地保全地区 王禅寺源左衛門谷特別緑地保全地区 生田榎戸特別緑地保全地区 柿生の里特別緑地保全地区 菅小谷緑の保全地域 片平緑の保全地域 栗木山王山特別緑地保全地区 井田平台特別緑地保全地区 岡上丸山特別緑地保全地区（新規） 久末東特別緑地保全地区（新規）</li> </ul> <input type="checkbox"/> 緑地のアボイド調査実施 <input type="checkbox"/> 植生管理のための萌芽更新を実施

#### (2) 都市農地の多面的な機能の活用等による取組

事業名	2012 年度計画	2012 年度実績
農業振興地域整備計画管理事業 [経：農地課]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「農業振興地域整備計画」に基づく農用地区域の適正管理及び計画の定期変更</li> <li>●農業振興地域の活性化の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業振興地域整備計画定期変更作業の実施と規制緩和に向けた県との協議の実施</li> <li>・暗渠に対するヒアリングの実施</li> <li>・違反転用等防止対策検討会議（3 回）、担当者会議（3 回）</li> <li>・ハーブ利活用事業の実施</li> <li>・地元農業者団体との会合実施（5 回）</li> </ul>

事業名	2012年度計画	2012年度実績
農業公園・交流促進型地域農業活性化事業 〔経：農地課〕	●里地里山用地の整備・管理、里地里山等活用実践活動による人材育成	・里山塾実施（14回） ・次年度から新たに行われる里山農業ボランティア育成研修会「みのり塾」の計画を作成し、「みのり塾」塾生を募集

【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012年度実施状況
生産緑地地区指定推進事業 〔経：農地課〕	市街化区域内農地の良好な保全を実施するため、生産緑地地区の指定・変更等を行う。	・新規追加指定 15 か所 ・新規拡大 16 か所
都市農地保全・活用事業 〔経：農地課〕	災害時における市民の一時避難場所の確保や遊休農地解消等を進め、都市農地の保全等を進める。	・早野地区の地域活性化策としてハーブ振興事業の推進（市民向け活用啓発セミナー2回計37人、販路開拓7件） ・遊休農地の解消に係る啓発活動、ハンマーナイフモアの貸出 ・市民防災農地の登録の推進（新規登録 16 か所） ・生産緑地地区指定の推進
市民農体験推進事業 〔経：農業振興課〕	市開設型市民農園の維持管理（7農園）を行うことで、農地の保全を行う。	市民農園の整備数：7農園、846区画
環境保全型農業推進事業 〔経：農業技術支援センター〕	高度な農業技術の導入促進や市民・農業者に対する啓発活動などを実施し、環境保全型農業を推進する。	・現地普及指導 75 回 ・啓発看板設置（イベント等含む）
自然環境対策事業 〔経：農業振興課〕	森林の保護に関する事務などを行う。	・川崎市森林整備計画変更案の策定及び適正な伐採届出の審査・受付事務
農地整備等一般管理 〔経：農地課〕	所管財産を適正に管理し、故障・破損箇所を計画的に修繕・整備し、施設の安全性を確保する。	・各施設等維持管理 ・野川用地管理

## Ⅷ-2 緑化の推進

緑化推進重点地区の整備や多様な主体との協働による緑の創出などの取組を進めました。

事業名	2012年度計画	2012年度実績
緑化推進重点地区整備事業 〔建：企画課〕	●リーディング事業の実施	・宮崎第1公園の緑化整備 ・緑化センターの緑化整備
市民との協働による緑化推進事業 〔建：緑政課〕	●市民の緑化活動に対する支援の実施 ●公共施設緑化の推進 ●地域緑化推進地区認定制度の普及啓発による市民の緑化活動促進 ●緑化施設整備計画認定制度、緑地協定の活用に向けた普及啓発	□民有地の緑化事業としての助成 ・奨励金支給 特別緑地保全地区・緑の保全地域：74件 緑地保全協定：124件 保存樹林：30件 保存生垣：50件 保存樹木：249件 まちの樹：28件 ・緑の活動団体への助成：173件 ・生垣緑化：3件 ・思い出記念樹：602件 □緑のカーテン大作戦Ⅱを243か所の公共施設等で実施 □地域緑化推進地区の認定数：14件 □緑化協定締結数：65件（-4）、緑地面積：155ha
市民緑化運動の推進 〔建：緑政課〕	●市民、事業者、行政のパートナーシップによる、市民100万本植樹運動の推進 ●植樹イベントの開催 ●公共施設緑化、市民活動支援等を通じた植樹の促進	・小・中学校等に対する苗木の支援（37校202本） ・久末城法谷市有地（高津区）での植樹祭の開催（600本植樹） ・市民100万本植樹運動イメージキャラクター「モリオン」の市イベント等での積極的な活用

事業名	2012 年度計画	2012 年度実績
		・市民緑化運動を誘引する「花の見所づくり」の施工（野川十三坊台）
臨海部緑の環境整備事業 〔建：企画課〕	●緑化推進計画に基づく臨海部の公園緑地・街路樹、公共施設等の緑の環境整備実施 ●効果的な事業所緑化等の誘導及び支援	・殿町夜光線の沿道環境整備の実施 ・効果的な事業所緑化の促進に向け、リエゾン推進協議会等で報告

【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012 年度実施状況
街路緑化整備事業 〔建：公園緑地課〕	緑豊かなうるおいのある安全なまちづくりをめざし、街路樹の植栽を進める。	街路樹延長・本数：(累計) 408 路線、約 228.1 km、41,113 本
事業所緑化推進事業 〔建：緑政課〕	創出された事業所等の緑化地の喪失を防ぐため、みどりの事業所推進協議会と連携を図りながら、緑化を促進する。	緑化協定締結数、緑地面積 65 件 (-4)、緑地面積：155ha
緑化啓発事業 〔建：緑政課〕	財団法人川崎市公園緑地協会と連携しながら、緑に係る人材育成を図るとともに、緑の活動団体等の交流及び活性化を進める。	・各講座卒業生の活用 ・「第 8 回花と緑のコンクール」の実施
緑化地域制度導入事業 〔建：企画課〕	都市緑地法に基づく緑化地域制度などの導入の検討を進め、緑豊かな街なみ形成をめざす。	庁内関係部署と制度構築に向けた調整を実施
川崎臨海部等アメニティ推進事業 〔経：国際経済推進室〕	川崎臨海部のアメニティ向上を推進するとともに、市内大規模工場における効果的な緑地整備を推進する。	・臨海部の景観配慮に係る取組の情報発信及び普及啓発の推進 ・特定工場緑地整備基本方針に基づく緑化の推進 ・「臨海のもりづくり」共同アピールと連携した緑化の推進
浮島地区土地利用推進事業 〔企：臨海部国際戦略室〕	恒久的土地利用に向けた基本計画の策定において、緑地等の検討を行う。	本格的土地利用に向けて緑地等の検討を実施
市営住宅等ストック活用事業 〔ま：住宅建替推進課〕	市営住宅の建替えに伴い、公園・緑地等の整備を進める。	古市場住宅 4 号棟、小向住宅 1 号棟建替えを完了

### Ⅷ-3 公園緑地の整備

地域特性を活かした、特色ある公園緑地の整備などに取り組みました。

事業名	2012 年度計画	2012 年度実績
富士見周辺地区整備の推進及び調整 〔企：公園緑地まちづくり調整室〕	●富士見周辺地区整備実施計画に基づく取組の推進	富士見周辺地区整備実施計画に基づく取組の推進及び調整を実施
富士見公園整備事業 〔建：公園緑地課〕	●富士見周辺地区整備実施計画に基づく公園の整備推進 ●富士見公園長方形競技場の工事着手	・富士見公園長方形競技場付帯工事の測量・設計の実施 ・富士見公園長方形競技場整備の実施
生田緑地整備事業 〔建：公園緑地課〕	●計画的な緑地内の用地取得 ●周遊散策路、広場（初山地区）整備完成	生田緑地の整備 用地取得：1.02ha、周遊散策路整備 都市計画決定面積：179.3ha(±0ha) 都市公園面積：117.1ha(+21.0ha) (管理面積：129.2ha)
生田緑地調整事業 〔建：生田緑地整備事務所〕	●生田緑地ビジョンに基づく取組の推進 ●東口ビジターセンターを活用した事業実施 ●西口サテライトの運用 ●西口園路の設計	・東口ビジターセンターを活用し、生田緑地のホームページの運用等、生田緑地の一体的な情報発信の実施 ・西口園路整備設計委託完成
等々力緑地調整事業 (等々力緑地再編整備事業) 〔建：等々力緑地再編整備室〕	●等々力緑地再編整備実施計画に基づく取組の推進 ●等々力陸上競技場の工事着手 ●等々力球場の整備計画の策定	・等々力陸上競技場の整備着手 ・等々力球場の整備計画の策定
大規模公園緑地の効果的・効率的な管理運営の	●生田緑地の横断的管理運営体制の構築に向けた指定管理者制度の導入の準備	・ゴルフ場の指定管理者並びに緑地及び岡本太郎美術館・日本民家園・青少年科学館を横断的に管

事業名	2012 年度計画	2012 年度実績
推進 〔企：公園緑地まちづくり調整室〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>●協働のプラットフォーム構築に向けた生田緑地マネジメント会議準備会の設置・運営</li> <li>●生田緑地以外の大規模公園緑地におけるパークマネジメント導入の検討</li> </ul>	理する指定管理者の選定 ・生田緑地マネジメント会議準備会において運営ルールを取りまとめ、2013年3月にマネジメント会議設立総会を開催 ・生田緑地以外の大規模公園緑地におけるパークマネジメント導入の検討

【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012 年度実施状況
等々力緑地整備事業 (等々力緑地再編整備事業) 〔建：等々力緑地再編整備室〕	小杉地区の街づくりを踏まえながら、スポーツ・レクリエーションの拠点及び災害時の広域避難場所としての整備を行う。	等々力緑地の整備 等々力陸上競技場整備ほか 都市計画決定面積：56.40ha(±0ha) 都市公園面積：36.59ha(±0ha) (管理面積：43.59ha)
菅生緑地整備事業 〔建：公園緑地課〕	里山の自然環境に親しめる宮前区市民健康の森として、市民との協働により整備を進める。	菅生緑地の整備 用地取得：0.03ha 都市計画面積：約13.4ha(±0ha) 都市公園面積：6.5ha(±0ha) (管理面積：10.9ha)
緑ヶ丘霊園整備事業 〔建：霊園事務所〕	墓所を市民に供給するとともに、憩いの場、安らぎの場として快適な環境の創造を図る。	園内トイレの水洗化工事、無縁合葬墓の設計
早野聖地公園整備事業 〔建：霊園事務所〕	良質で低廉な墓所を整備するとともに、自然環境を活かした自然生態保全観察型公園としての整備を進める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規墓所 250 区画を整備・供給</li> <li>・用地取得 2,072 m<sup>2</sup></li> </ul>
リフレッシュパーク整備事業 〔建：公園緑地課〕	1971 年以前に開設され、老朽化した近隣・地区公園を市民参画により整備計画を策定し、新たな公園に再生する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御幸公園整備の完了</li> <li>・小田公園第2期整備の実施、及び第3期整備の設計</li> </ul>
大小公園整備事業 〔建：公園緑地課〕	地域の集い・憩いの場となる街区公園や景観に資する都市緑地等の整備を行い、うるおいのある空間の創出を図る。	大小公園整備 5 か所の実施
開発事業に関する調査指導業務 〔建：公園緑地課〕	都市計画法、総合調整条例や緑の条例に基づき、帰属公園等や自主管理の緑化地整備の事業者協議・指導を行う。	開発行為等による提供公園 11 か所 0.73ha
港湾緑地維持整備事業 〔港：港営課〕	港湾緑地の適正な維持管理を行い、良好な港湾環境の形成を図るとともに、港湾緑地の防災機能の維持を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・港湾緑地面積 約 32ha</li> <li>・港における公園等の維持管理</li> </ul>

#### Ⅷ-4 水辺空間の利用

治水の安全度を高めるとともに環境に配慮した「多自然川づくり」による都市環境の向上を図るとともに、多摩川における豊かな河川空間の創出をめざす「多摩川プラン」の推進などに取り組みました。

##### (1) 治水・雨水対策の推進による取組

事業名	2012 年度計画	2012 年度実績
河川改修事業 〔建：河川課〕	●平瀬川支川の河川改修の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改修工事を実施し、時間雨量 50mm に対応する改修率が 65%となった</li> <li>・自然石を埋め込んだブロックの使用や植生が定着しやすい法面改修など環境に配慮した護岸の改修工事を実施</li> </ul>
準用河川等改修事業 〔建：河川課〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>●矢上川河川改修の事業推進</li> <li>●麻生川魚道設置、河床整備完成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・矢上川河川改修工事の推進</li> <li>・麻生川環境整備の完了</li> </ul>

【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012 年度実施状況
渋川沿川環境改善推進事業 〔建：河川課〕	賑わいとうるおいのあるまちづくりに向けて、元住吉駅周辺における渋川の整備を推進する。	渋川整備基本計画に基づく取組の実施(整備詳細設計)

## (2) 多摩川の魅力を活かす総合的な取組

事業名	2012 年度計画	2012 年度実績
水辺の楽校協議会支援事業 〔建：多摩川施策推進課〕	●市内3つの水辺の楽校間の交流事業の実施 ●流域の他都市の水辺の楽校等との連携	・市内3校合同による観察会の実施 ・流域自治体である大田区や多摩市等との事業実施
多摩川プラン推進事業 〔建：多摩川施策推進課〕	●多摩川プラン推進会議の運営	多摩川プラン推進会議を開催し、施策の方向性や実施状況を確認

### 【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012 年度実施状況
多摩川における並木の復活事業 〔建：多摩川施策推進課〕	国の治水事業や民間開発事業等と連携しながら、多摩川沿いに桜や松等の植樹事業を展開する。	・国のスーパー堤防や沿川市街地整備等に合わせた関係者との協議・調整 ・大師河原周辺エリア（殿町3丁目地区）において地元と協働し植樹を実施
多摩川エコミュージアムプラン推進事業 〔建：多摩川施策推進課〕	多摩川シンポジウム事業、環境学習、環境教育の推進事業など、多摩川プランを推進する。	NPOや市民団体と市の協働のルールによる協定書に基づき各種事業の実施
多摩川緑地維持管理事業 〔建：多摩川施策推進課〕	運動施設・駐車場・トイレ等の整備や維持管理の充実を図り、利用環境の一層の向上に取り組む。	直営作業と委託業務による効率的な維持管理業務の執行

## 指標の推移

施策課題	指標	計画策定時	現状	目標
Ⅷ-1	施策による緑地の保全面積（法・条例等により保存されている面積）	211ha（2009年度）	223ha（2012年度）	2017年度までに272ha（*）
	施策による農地の保全面積（農業振興地域内農用地、生産緑地地区内農用地等）	407ha（2009年度）	397ha（2012年度）	2017年度までに416ha（*）
Ⅷ-2	緑化地面積（公共施設等の緑化地創出面積）	356ha（2009年度）	357ha（2012年度）	2017年度までに358ha（*）
Ⅷ-3	公園緑地面積（都市公園等（**）の整備面積）	716ha（2009年度）	756ha（2012年度）	2017年度までに769ha（*）

\* 「川崎市緑の基本計画」に基づく目標数値

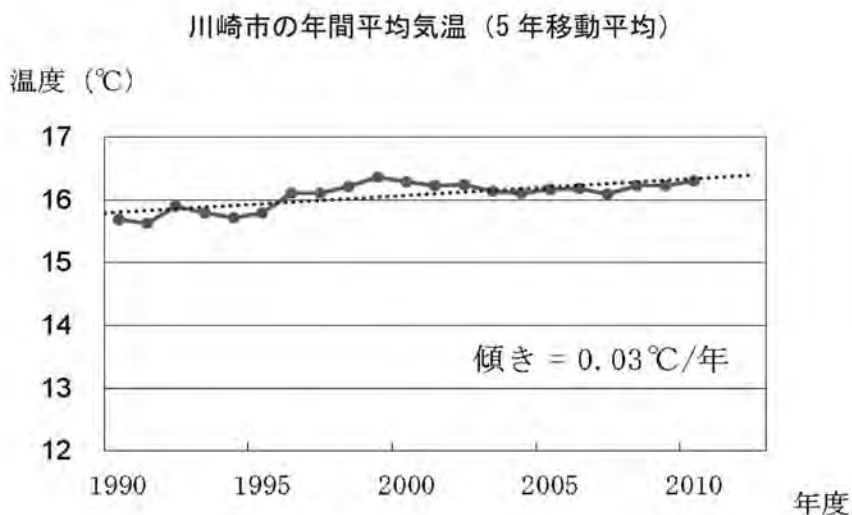
\*\* 都市公園等：都市公園、臨海公園（港湾緑地）、臨海部における緑地



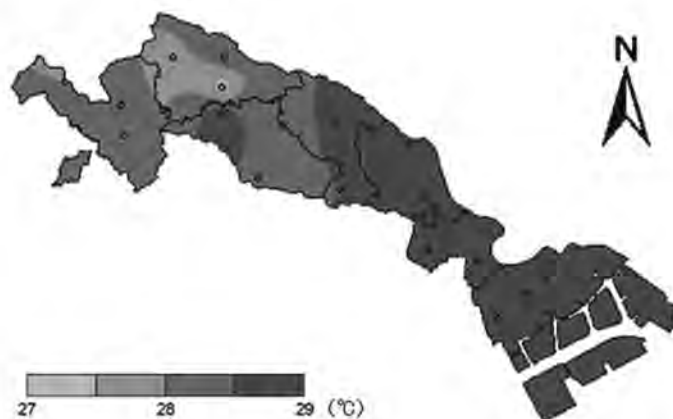
## Ⅸ ヒートアイランド対策の推進

### 現状と課題

1990年度以降の本市における年間平均気温（9か所の観測地点の平均値）の経年変化は、 $0.03^{\circ}\text{C}/\text{年}$ 程度上昇しています。また、真夏日及び熱帯夜の日数についても増加傾向にあります。2012年度の本市における夏期の気温分布では、川崎区から高津区にかけて高く、宮前区、多摩区、麻生区にかけて低い傾向が見られました。



川崎市の夏期の平均気温分布図（2012年8月）



### 基本的方向

- ◇ ヒートアイランド現象を緩和し、市民の快適な生活の確保を目指す。

### 基本施策と施策課題

#### Ⅸ ヒートアイランド対策の推進

Ⅸ-1 緑・水の確保

Ⅸ-2 排熱の抑制

Ⅸ-3 地表面被覆の改善

## 施策課題ごとの実施状況

### IX-1 緑・水の確保

緑の保全に向けた取組を進めるとともに、多自然川づくりにより親しみのある水辺環境の確保など都市環境の向上を図ります。

事業名	2012年度計画	2012年度実績
ヒートアイランド対策推進事業 [環：地球環境推進室] [環：環境総合研究所]	●地球温暖化対策推進計画（CCかわさき推進プラン）に基づく取組の推進 ●打ち水等の啓発活動の実施	・夏期気温分布図の作成、対策技術の効果検証

【関連事業】

\*ヒートアイランド対策は様々な施策があるため、再掲事業については、省略する

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012年度実施状況
河川維持補修事業 [建：河川課]	河川のしゅんせつ、除草などの維持管理や水門などの河川施設の保守点検・補修により、水害の防止や環境の保全を図る。	河川の良好な維持管理、緊急補修工事の実施 河川維持補修計画に基づく委託の実施
生田緑地維持管理事業 [建：公園管理課]	本市に残された貴重な緑である生田緑地の良好な環境を保つとともに、市民が快適に利用できるよう予防保全型の維持管理を図る。	適切な維持管理の実施
生田緑地内ばら苑維持管理事業 [建：公園管理課]	市民ボランティアと協働して、苑内のバラを良好な状態に育成し、広く市民に開放する。	入苑者数 105,021 人 ばら苑コンサート、地元中学生による演奏・演技等、来苑者へのサービスの充実
等々力緑地維持管理事業 [建：公園管理課]	スポーツ・レクリエーションの場として活用を図るとともに、川崎フロンターレへの支援策と連携した維持管理を進める。	適切な維持管理の実施
緑ヶ丘霊園維持管理事業 [建：霊園事務所]	墓参者及び来園者の安全と利便性向上のため、適切な運営及び維持管理を行うとともに、管理運営体制の見直しを検討する。また、墓地使用にかかる受益者負担については他都市の状況等を踏まえながら適正化を図る。	樹木、緑地等の適切な維持管理の実施
早野聖地公園維持管理事業 [建：霊園事務所]	墓参者及び来園者の安全と利便性向上のため、適切な運営及び維持管理を行う。また、墓地使用にかかる受益者負担については他都市の状況等を踏まえながら適正化を図る。	樹木、緑地等の適切な維持管理の実施
水路整備事業 [建：河川課]	水路の環境整備を図り、水辺との一体的な空間を創出し、水と緑のネットワークの形成に努める。	・水路の適切な維持管理 ・町田堀の整備完了

### IX-2 排熱の抑制

温室効果ガス排出量削減の促進などによりオフィス等からの廃熱の低減に取り組むなど、都市活動から発生する人工排熱を低減することで余分な熱の発生を抑えていきます。

事業名	2012年度計画	2012年度実績
ヒートアイランド対策推進事業 [環：地球環境推進室] [環：環境総合研究所]	●地球温暖化対策推進計画（CCかわさき推進プラン）に基づく取組の推進 ●打ち水等の啓発活動の実施	・夏期気温分布図の作成、対策技術の効果検証

### IX-3 地表面被覆の改善

屋上・壁面緑化などによる公共施設の緑化の推進などに取り組んでいきます。

事業名	2012年度計画	2012年度実績
ヒートアイランド対策推進事業 [環：地球環境推進室] [環：環境総合研究所]	●地球温暖化対策推進計画（CCかわさき推進プラン）に基づく取組の推進 ●打ち水等の啓発活動の実施	・夏期気温分布図の作成、対策技術の効果検証

## X 環境技術による国際貢献の推進

### 現状と課題

本市は、これまで京浜工業地帯の中核として、日本の高度経済成長を支えてきましたが、この過程で生じた環境問題に対して、各主体がそれぞれ様々な努力を重ねてきた結果、優れた環境技術やノウハウが培われ、それらが蓄積されてきています。

地球全体での環境問題が深刻化する中、こうした川崎の特徴や強みを活かし、優れた環境技術・製品や環境問題に取り組んだ経験・ノウハウの海外移転を促進することで、世界をリードする環境技術先進都市として地球全体の環境問題の解決に取り組んでいく必要があります。

本市では、市内に蓄積された環境技術・製品について、地球全体の温室効果ガスの削減を推進する視点を踏まえ、ライフサイクル全体での二酸化炭素を削減する製品等を認定する低CO<sub>2</sub>川崎ブランドを2009年度から試行実施し、2012年度から本格実施しました。また、市内事業者の環境技術が市域外で温室効果ガスの排出削減に貢献する量（域外貢献量）を「見える化」し、企業が市場で適切に評価される仕組みである「川崎メカニズム」を2012年度に構築しました。

### 基本的方向

- ◇ 国際的な環境活動や環境技術の移転を通じ、地球全体での温室効果ガス削減に貢献する。

### 基本施策と施策課題

#### X 環境技術による国際貢献の推進

X-1 地球全体での温室効果ガスの削減

X-2 国際的な環境保全活動への支援・連携

X-3 環境技術の海外移転の促進

## 施策課題ごとの実施状況

### X-1 地球全体での温室効果ガスの削減

ライフサイクル全体でCO<sub>2</sub>の削減に寄与する製品等を評価する「低CO<sub>2</sub>ブランド事業」を推進するなど、本市の優れた環境技術等を活用した地球全体での温室効果ガス削減に貢献しました。

事業名	2012年度計画	2012年度実績
地球温暖化対策事業 [環：地球環境推進室]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「低CO<sub>2</sub>川崎ブランド」の認定及び普及の推進</li> <li>●事業活動地球温暖化対策計画書制度の運用・見直しの検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□低CO<sub>2</sub>川崎ブランド'12として、10件を認定するとともに、展示会等において広報を実施</li> <li>□「川崎メカニズム」の構築</li> <li>□域外貢献量の推計（2011年度） <ul style="list-style-type: none"> <li>・1,330千トン・CO<sub>2</sub></li> <li>（1990年度比4.6%に相当）</li> </ul> </li> <li>□事業活動地球温暖化対策計画書制度 <ul style="list-style-type: none"> <li>計画書・報告書提出件数（第1,2,4号該当者）</li> <li>・計画書：3件</li> <li>・結果報告書：155件</li> <li>・立入調査件数：49件</li> </ul> </li> </ul>

### X-2 国際的な環境保全活動への支援・連携

環境技術において高いポテンシャルを有する川崎の取組を広く内外に向けて紹介し、環境技術の情報提供等を通じた国際貢献の取組を推進しました。

事業名	2012年度計画	2012年度実績
国連環境計画(UNEP)連携協調事業 (国際環境施策推進事業) [環：環境総合研究所] [環：地球環境推進室]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●UNEPプロジェクトへの協力・支援</li> <li>●「国連グローバルコンパクト」、「かわさきコンパクト」の推進</li> <li>●中国瀋陽市との循環経済発展協力協定に基づく取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境技術移転に向けた取組の推進</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□固形廃棄物統合管理ワークショップ、循環型経済推進プロジェクト会議など参加</li> <li>□「かわさきコンパクト」の推進に向け、セミナー3回開催</li> <li>□「かわさきコンパクトフォーラム」開催</li> <li>□第15期瀋陽市環境技術研修生受入れ <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国・瀋陽市から2名、29日間</li> <li>・環境行政研修、環境技術研修他</li> <li>・1997年度から研修生受入継続（延べ33名）</li> <li>・川崎市—瀋陽市環境にやさしい都市構築モデル事業に関するワークショップ参加</li> </ul> </li> </ul>
国際関係事業 [上下水：経営企画課]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オーストラリア・クイーンズランド州における「省水型・環境調和型水循環プロジェクト」への協力</li> <li>●国、自治体、民間企業との連携、情報共有などの推進</li> <li>●水分野における専門家派遣等による国際貢献の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上下水道分野における国際展開の実施方針策定</li> <li>・世界の水環境改善に向けて官民が連携、協調し水ビジネスを推進するプラットフォーム「かわさき水ビジネスネットワーク」（かわビジネスネット）の設立</li> <li>・世界の水環境改善に向けたJICAとの連携覚書締結</li> <li>・中国・瀋陽水務集団との友好協力協定締結</li> <li>・ラオスへの専門家派遣（2人）</li> <li>・海外からの研修生・視察者受入れ（17か国113人）</li> </ul>

### X-3 環境技術の海外移転の促進

川崎国際環境技術展などを通じ、環境技術の海外移転を促すとともに、アジア起業家村構想を推進し市内企業との人的・技術的交流を促進するなど、国際社会への貢献に取り組みました。

事業名	2012年度計画	2012年度実績
国連環境計画(UNEP)連携協調事業 (国際環境施策推進事業) [環：地球環境推進室]	●「国連グローバルコンパクト」、「かわさきコンパクト」の推進	・「かわさきコンパクト」の推進に向け、セミナー3回開催 ・「かわさきコンパクトフォーラム」開催
国際環境産業推進事業 [経：国際経済推進室]	●「川崎国際環境技術展」の開催 ●技術展出展企業等へのマッチングフォローアップの実施	□「川崎国際環境技術展 2013」の開催 ・優れた環境技術等を有する145団体242ブース出展 ・海外30カ国215人を含む約15,200人が来場 ・環境技術の海外への移転に向けたビジネスマッチングを実施 □企業の海外展開に向けたヒアリング等を行い、専門コーディネーターによるフォローアップを行い、海外への環境技術移転に向けた取組を実施
アジア起業家誘致交流促進事業 [経：国際経済推進室]	●アジア起業家村(THINK内)での取組の推進 ①起業家・企業の集積 ②入居企業に対する支援の実施 ③THINKでの入居者支援とあわせた支援機関相互の連携の促進 ●上海市浦東新区などとの環境技術交流事業の実施 ●展示会を通じた環境技術移転の促進 ●環境総合研究所と連携した行政・環境産業交流の促進	・アジア起業家村構想拠点施設でのアジア起業家・企業の集積(新規入居企業3社、累計33社) ・アジア起業家村に入居している7社に対して、創業支援、経営支援、生活支援等を実施 ・起業家村入居企業と市内企業による新規ビジネスの中国進出プロジェクトが始まり、関連支援機関と連携して経営支援を実施 ・上海市環境技術研修生の受入(2名) ・上海市への環境ビジネスミッションの派遣(7社) ・アジア起業家養成塾の開催(19名) ・国際環境技術展への海外都市・企業等の招へいを通じた環境技術移転の促進
国際関係事業 [上下水：経営企画課]	●オーストラリア・クイーンズランド州における「省水型・環境調和型水循環プロジェクト」への協力 ●国、自治体、民間企業との連携、情報共有などの推進 ●水分野における専門家派遣等による国際貢献の推進	・上下水道分野における国際展開の実施方針策定 ・世界の水環境改善に向けて官民が連携、協調し水ビジネスを推進するプラットフォーム「かわさき水ビジネスネットワーク」(かわビズネット)の設立 ・世界の水環境改善に向けたJICAとの連携覚書締結 ・中国・瀋陽水務集団との友好協力協定締結 ・ラオスへの専門家派遣(2人) ・海外からの研修生・視察者受入れ(17か国113人)

#### 【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012年度実施状況
海外販路開拓事業 [経：国際経済推進室]	市内企業のアジア・海外への販路の開拓などビジネスの国際化を支援し、国際競争力強化をめざすとともに、環境技術・製品等の海外への移転を促進する。	国際環境技術展における海外企業ビジネスマッチング数40件

## 指標の推移

施策課題	指標	計画策定時	現状	目標
X-1	低CO <sub>2</sub> 川崎ブランドの普及・促進	19件（2010年度累計）	36件（2012年度累計）	—
X-2	海外からの環境技術視察・研修の受入人数	1,143人（2009年度）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコタウン施設における海外からの受入人数は329人で、震災等の影響もあり、前年度の617人に比べて288人の減少</li> <li>・エコタウンを除く海外からの受入人数は205人で、震災等の影響もあり、前年度に比べて20人の減少（2012年度）</li> </ul>	現状より増やすこと

## XI 環境技術の研究開発等の推進

### 現状と課題

本市は、これまで京浜工業地帯の中核として、日本の高度経済成長を支えてきたが、この過程で生じた環境問題に対して、各主体がそれぞれ様々な努力を重ねてきた結果、優れた環境技術やノウハウが培われ、それらが蓄積されてきています。

こうした環境技術に係る情報について、収集・分析・体系化を行い、積極的に発信していくことが求められています。

また、環境問題を解決していくためには現状に関する実践的な調査研究が不可欠であり、その結果を施策・事業にフィードバックし、計画的・科学的に環境施策を推進する必要があります。これらの成果を国際社会に発信し、地球全体の環境問題への貢献を図る拠点として殿町 3 丁目地区に環境総合研究所を 2013 年 2 月に開設しました。

### 基本的方向

- ◇ 川崎のフィールドを活かした環境技術研究開発を推進する。
- ◇ 体系的な環境技術情報を発信する。

### 基本施策と施策課題

XI 環境技術の研究開発等の推進

XI-1 環境技術の研究開発・科学的環境施策の推進

XI-2 環境技術情報の収集・発信

## 施策課題ごとの実施状況

### XI-1 環境技術の研究開発・科学的環境施策の推進

環境施策を計画的・科学的に推進するため、殿町3丁目に整備する（仮称）産学公民連携研究センター（川崎生命科学・環境研究センター「L i S E」）に2013年2月に環境総合研究所を開設するなど、取組を推進しました。

事業名	2012年度計画	2012年度実績
環境総合研究所整備事業 （環境総合研究推進事業） [環：環境総合研究所]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境総合研究所の開設・運営               <ul style="list-style-type: none"> <li>①低炭素まちづくりなど都市と産業の共生に向けた研究</li> <li>②川崎の優れた環境技術による国際貢献の推進</li> <li>③環境技術情報の収集と発信</li> <li>④環境改善と環境汚染の未然防止のための監視・調査・研究</li> <li>⑤多様な主体と連携した環境教育・学習の実施</li> </ul> </li> <li>●産学公民連携による環境技術や研究開発の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2013年2月に環境総合研究所開設</li> <li>・6件の共同研究の実施及び研究成果を発信するためのセミナーを開催</li> </ul>
殿町3丁目地区中核施設等整備事業 [企：臨海部国際戦略室]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●（仮称）産学公民連携研究センターの開設・運営</li> <li>●第3段階の立地誘導の推進</li> <li>●立地企業等の誘導による拠点形成の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（仮称）産学公民連携研究センター（川崎生命科学・環境研究センター「L i S E」）の開設</li> <li>・第3段階の整備に向けて、国庫補助事業を活用した事業スキームを策定し、国へ提案・採択された</li> <li>・地権者による基盤整備への支援を行うとともに、地権者と連携して企業等の誘致活動を実施</li> </ul>

#### 【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012年度実施状況
公害調査研究事業 （地域環境・公害監視事業） [環：環境総合研究所]	大気・水・都市環境等に関する環境保全・改善に向けた調査研究を行うとともに、その成果を環境施策へ反映し、計画的・科学的な環境施策を推進する。	試験検査23事業 調査研究27事業 共同調査研究11事業
下水道技術開発事業 [上下水：下水道計画課]	下水道技術を効率的かつ効果的に推進するための課題解決に向け、高度処理、地球温暖化対策などについて既存施設を最大限活用した技術開発を進める。	調査研究11件 フィールド提供研究2件

### XI-2 環境技術情報の収集・発信

環境技術による国際貢献などに向け、市内に蓄積された環境技術情報や共同研究の成果などについて、積極的に情報発信を行いました。

事業名	2012年度計画	2012年度実績
環境総合研究所整備事業 （環境総合研究推進事業） [環：環境総合研究所]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境総合研究所の開設・運営               <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境技術情報の収集と発信など</li> </ul> </li> <li>●産学公民連携による環境技術や研究開発の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2013年2月に環境総合研究所開設</li> <li>・6件の共同研究の実施及び研究成果を発信するためのセミナーを開催</li> </ul>
環境調和型産業振興事業 [経：国際経済推進室]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「環境産業フォーラム」の開催</li> <li>●市内環境技術・製品等の情報発信・ビジネス支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「環境産業フォーラム」2回開催（延べ230人が参加）</li> <li>・環境産業に関するホームページのリニューアルと情報発信</li> <li>・かわさき環境ショーウィンドウモデル事業6件実施</li> <li>・かわさき環境ショーウィンドウ大賞7件選定</li> <li>・かわさき環境ショーウィンドウフェアの開催</li> <li>・エコテックウォーカーの作成</li> </ul>



## XII 市役所の率先取組の推進

### 現状と課題

本市では、市が率先して計画的、体系的に環境保全活動を推進することを目的に、1999年から「川崎市役所環境管理システム（エコオフィス計画）」を実施してきました。

市役所は、民生部門（業務系）では市内最大規模の排出事業者であることから、事業者、市民に率先して温室効果ガス排出量の削減に取り組む必要があります。2012年度では、東日本大震災発生以後の節電効果等によりエネルギー使用量が減少する一方、電力の排出係数の悪化や廃棄物焼却における増加等により排出量が増加しています。2020年度までに市の事業活動に伴う温室効果ガス排出量を2割以上削減する（2008年度比）ことを目標に、市役所の率先した取組をより推進していく必要があります。

### 要因別温室効果ガス排出量の推移

単位：トン-CO<sub>2</sub>

項目	廃棄物焼却	下水処理	笑気ガス	市立学校等	庁舎・公共施設・自動車等	計
2008年度	178,608	80,814	150	18,462	112,745	390,778
2009年度	164,866	78,840	57	21,603	110,646	376,012
2010年度	178,270	83,399	56	22,937	111,482	396,144
2011年度	161,247	80,577	29	20,272	111,452	373,577
2012年度	189,128	88,278	29	24,743	125,634	427,812
2008年度比	5.9%	9.2%	-80.7%	34.0%	11.4%	9.5%

### 基本的方向

- ◇ 目標：2020年度までに市の事業活動に伴う温室効果ガス排出量を2割以上削減する（2008年度比）。

市民や事業者に率先して次の取組を推進する。

- ◇ エネルギー使用量の削減を進める。
- ◇ 再生可能エネルギー源の優先的な利用を進める。
- ◇ 温室効果ガス排出量の削減を進める。
- ◇ 環境に配慮した契約や物品の調達等を推進する。

### 基本施策と施策課題

#### XII 市役所の率先取組の推進

XII-1 公共施設におけるエネルギー使用量の削減

XII-2 再生可能エネルギー源の優先的な利用

XII-3 エネルギーの使用に由来しない温室効果ガスの削減

XII-4 公用車における対策の推進

XII-5 緑化の推進

XII-6 環境に配慮した契約や物品調達等の推進

## 施策課題ごとの実施状況

### Ⅱ-1 公共施設におけるエネルギー使用量の削減

市役所の事業活動に伴うエネルギー使用量の削減に向けて、エネルギー効率の高い施設の整備に向けた取組などを推進しました。

事業名	2012年度計画	2012年度実績
エコオフィス推進事業 [環：地球環境推進室]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地球温暖化対策推進計画（CCかわさき推進プラン）に基づく取組の推進</li> <li>●「（仮称）環境配慮型施設等設計指針」の検討</li> <li>●職員による省エネルギー対策の推進</li> <li>●エネルギー効率の高い機器の導入や断熱性能の向上による公共施設における省エネルギーの取組のモデル実施</li> <li>●エコオフィス管理システムの運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画に基づく市役所からの温室効果ガス排出量の削減を目指した取組の実施</li> <li>・「市建築物における環境配慮標準」の策定に向けた検討を実施</li> <li>・空調負荷の低減や照明の減灯などの節電行動の実施</li> <li>・白熱電球のLED化の推進</li> <li>・公共施設における省エネルギー設備の導入</li> <li>・エコオフィス管理システムを活用した状況把握の実施</li> </ul>
学校教育施設の改築・大規模改修事業 [教：教育環境整備推進室]		校舎等に関して、旭町小学校（2013年2月建築）、東菅小学校（2013年2月建築）及び百合丘小学校（2012年7月建築）において太陽光発電設備やペアガラスの窓などを導入
殿町3丁目地区中核施設等整備事業 [企：臨海部国際戦略室]	●（仮称）産学公民連携研究センターの開設・運営	（仮称）産学公民連携研究センター（川崎生命科学・環境研究センター「L i S E」）の運営開始
水道施設整備事業 [上下水：水道計画課]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「水事業の再構築計画」に基づく施設整備の推進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①長沢浄水場第1期工事継続（沈でん池、ろ過池、配水池、長沢浄水場場外連絡管、生田送水ポンプ設備更新）</li> <li>②生田浄水場配水池更新工事着手</li> <li>③朝見台・生田配水池送水管新設</li> </ul> </li> <li>●「10カ年施設整備計画」に基づく老朽配水管（口径350mm以下）の更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長沢浄水場第1期工事完了（沈でん池、ろ過池、配水池、長沢浄水場場外連絡管、生田送水ポンプ設備更新）</li> <li>・生田浄水場配水池更新工事着手</li> <li>・老朽配水管（口径350mm以下）更新延長24,100m（残延長214,200m）</li> </ul>

#### 【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012年度実施状況
庁舎等整備事業 [消：施設整備課]	迅速な出勤態勢や的確な消防業務運営を確保するため、老朽化した庁舎・施設・消防団器具置事業推進場等の改修・整備等を推進する。	・消防署所の計画的な改修等 3件
公共建築物の長寿命化対策（大規模5施設） [ま：施設保全担当]	公共建築物の維持保全・修繕等更新への的確な対応を図るため、中長期保全計画に基づく取組を推進する。	・全庁的な長寿命化の推進のため、「かわさき資産マネジメントプラン」と連携した「公共建築物長寿命化に向けた実施方針」を策定
老朽給水管対策事業 [上下水：水道管理課]	漏水を防止することで、浄水処理における環境負荷の低減を図る。	老朽給水管更新工事（約4,500件）
漏水防止対策事業 [上下水：水道計画課]	漏水を防止し、水資源の有効活用と有収率・有効率の向上を図る。	漏水調査（約1,090km）
水源環境保全事業 [上下水：水運用センター]	水源環境の保全により、安定した水源を確保することで、浄水処理における環境負荷の低減を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>□相模川流域下水道整備への協力</li> <li>◇整備計画に対する助成率</li> <li>流域下水道の整備                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・相模原市（旧）相模湖町 約20.6%</li> <li>・相模原市（旧）津久井町 約66.6%</li> <li>・相模原市（旧）藤野町 約12.8%</li> </ul> </li> <li>□相模湖及び津久井湖に係る環境整備及び維持管理                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・エアレーション装置の維持管理（相模湖8基、津久井湖5基）</li> <li>・表層部流動化装置の維持管理（津久井湖4基）</li> </ul> </li> </ul>

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012年度実施状況
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物浄化施設の維持管理 (津久井湖畔三井地区、沼本地区)</li> <li>□相模湖に流入する土砂の浚渫による水源保全</li> <li>・堆砂のしゅんせつ 132,200 m<sup>3</sup></li> <li>・土砂処分の推進 骨材利用 5,000 m<sup>3</sup> 埋立利用 143,990 m<sup>3</sup></li> </ul>
水処理センター・ポンプ場施設の整備・再構築事業 〔上下水：施設課〕	水処理センター・スラッジセンター・ポンプ場の高度処理、省エネ機器の採用、小水力発電等の再生可能エネルギーの導入等を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入江崎及び加瀬水処理センターの汚泥掻き寄せ機の更新に合わせ、省エネルギー化を推進</li> <li>・高度処理事業では、入江崎水処理センター西系再構築Ⅱ期事業着手ほか、沈砂池管理棟整備工事推進</li> </ul>
水道事業の給水能力の見直し 〔上下水：経営企画課〕	「水道事業の再構築計画」に基づく施設整備を推進し、長沢浄水場への機能集約による使用エネルギーの削減を図る。	長沢浄水場第1期工事継続（沈でん池、ろ過池、配水池、長沢浄水場場外連絡管、生田送水ポンプ設備更新）
下水道技術開発業務 〔上下水：下水道計画課〕	下水道事業を効率的かつ効果的に推進するための課題解決に向け、高度処理、地球温暖化対策などについて既存施設を最大限活用した技術開発を進める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査研究11件</li> <li>フィールド提供研究2件</li> </ul>
上下水道事業の環境施策推進事務 〔上下水：調整担当〕	「CCかわさき」に基づく市の取組との整合を図りながら、二酸化炭素削減などの観点から施設の更新を行い、環境に配慮した事業運営を進める。	局環境計画年次報告書（環境報告書）の作成（2013年2月）
既存学校施設再生整備事業 〔教：教育環境整備推進室〕	モデル校（2校）に対し、既存学校施設の改修等の再生整備手法により、長寿命化や地球温暖化対策をはじめとする環境対策を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>モデル校事業工事（2校）</li> <li>モデル事業の検証</li> </ul>
廃棄物処理施設等整備事業 〔環：施設整備課〕	廃棄物処理事業を安定的かつ円滑に進めるため、廃棄物関連施設の補修及び整備工事を実施する。	各施設の補修及び整備工事を実施
工業用水道事業の効率化の推進 〔上下水：経営企画課〕	「工業用水道事業の再構築計画」に基づく施設整備の中で、省エネルギー機器を導入する。	生田浄水場の送水ポンプ設備、受変電設備、監視制御装置更新工事完了
工業用水道施設整備事業 〔上下水：水道計画課〕	「工業用水道事業の再構築計画」に基づく施設整備の中で、省エネルギー機器を導入する。	生田浄水場の送水ポンプ設備、受変電設備、監視制御装置更新工事完了
市民ミュージアム管理運営事業 〔市：市民ミュージアム〕	市民ミュージアムの空調設備の更新にあたり、蓄熱槽や空調方式の見直しを同時に行うことで、電力使用量の低減を図る。	空調設備改修1期工事完了（熱源機改修及び蓄熱層改修）
幸区役所庁舎整備事業 〔市：区調整課〕	幸区役所庁舎の再整備において、地球環境にも配慮した自然にやさしい区役所づくりをめざす。	環境に配慮した庁舎の実施設計を実施し、新庁舎建築工事に着手
庁舎維持管理事務 〔総：庁舎管理課〕	庁舎の適正な維持管理を行うことで、エネルギー・資源消費の抑制に向けた取組を行う。	事業推進

## Ⅱ-2 再生可能エネルギー源の優先的な利用

啓発効果が高い公共施設への導入を進めるとともに、グリーン電力証書による市内の電力のグリーン化などに取り組みました。

事業名	2012 年度計画	2012 年度実績
再生可能エネルギー推進事業 〔環境エネルギー推進事業〕 〔環：地球環境推進室〕	●公共施設における再生可能エネルギー利用設備の導入	□公共施設への導入状況 ◇太陽光発電設備(1kW以上)：5か所 ・かわさき新産業創造センター新館(NANOBIIC) (30kW) ・百合丘小学校 (10kW) ・旭町小学校 (10kW) ・東菅小学校 (10kW) ・川中島小学校 (10kW)
エコオフィス推進事業 〔環：地球環境推進室〕	●グリーン電力証書の購入	・市役所庁舎：494,000kW ・イベント：12,150kW
殿町3丁目地区中核施設等整備事業 〔企：臨海部国際戦略室〕	●(仮称)産学公民連携研究センターの開設・運営	(仮称)産学公民連携研究センター(川崎生命科学・環境研究センター「LISE」)の運営開始

### 【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012 年度実施状況
水道施設整備事業 〔上下水：水道計画課〕	「水道事業の再構築計画」に基づく施設整備を推進し、長沢浄水場への機能集約による使用エネルギーの削減を図るとともに、太陽光発電施設等を導入する。	長沢浄水場第1期工事完了(沈でん池、ろ過池、配水池、長沢浄水場場外連絡管、生田送水ポンプ設備更新)
水処理センター・ポンプ場施設の整備・再構築事業 〔上下水：施設課〕	水処理センター・スラッジセンター・ポンプ場の高度処理、省エネ機器の採用、小水力発電等の再生可能エネルギーの導入等を推進する。	・入江崎及び加瀬水処理センターの汚泥掻き寄せ機の更新に合わせ、省エネルギー化を推進 ・高度処理事業では、入江崎水処理センター西系再構築Ⅱ期事業着手ほか、沈砂池管理棟整備工事推進

## Ⅱ-3 エネルギーの使用に由来しない温室効果ガスの削減

市役所から排出される温室効果ガスの4割を占める廃棄物の焼却に起因する二酸化炭素排出量削減に向け、プラスチック製容器包装の分別収集を進めるなどの取組を促進させました。

事業名	2012 年度計画	2012 年度実績
分別収集事業 〔環：収集計画課〕	●プラスチック製容器包装分別収集の南部3区(川崎区、幸区、中原区)実施	・2011年3月からプラスチック製容器包装分別収集の南部3区(川崎区、幸区、中原区)実施 分別収集量(回収量) ・プラスチック製容器包装：3,811トン/年(-85トン)

### 【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012 年度実施状況
水処理センター・ポンプ場施設の整備・再構築事業 〔上下水：施設課〕	水処理センター・スラッジセンター・ポンプ場の高度処理、省エネ機器の採用、小水力発電等の再生可能エネルギーの導入等を推進する。	・入江崎及び加瀬水処理センターの汚泥掻き寄せ機の更新に合わせ、省エネルギー化を推進 ・高度処理事業では、入江崎水処理センター西系再構築Ⅱ期事業着手ほか、沈砂池管理棟整備工事推進
処理センター整備事業 〔環：施設建設課〕	温室効果ガスの削減など、環境負荷の低減に向け、3焼却処理施設体制を構築していくため、今後のごみ焼却処理施設の整備に関する基本的な考え方を取りまとめる。	橋処理センター基本計画及び環境配慮計画書の準備
余熱利用市民施設運営事業 〔環：減量推進課〕	ごみ焼却の余熱の有効利用と、指定管理者制度を活用した、効果的・効率的な施設運営を行う。	ヨネッティー堤根、ヨネッティー王禅寺での温水プール等への余熱利用

## Ⅱ-4 公用車における対策の推進

公用車における電気自動車の導入を進めるとともに、使用実態に応じた車両の小型化などの取組を進めるなど、公用車の利用に伴う温室効果ガス排出量の削減に取り組みました。

事業名	2012年度計画	2012年度実績
エコオフィス推進事業 〔環：地球環境推進室〕 〔環：交通環境対策課〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境配慮契約推進方針に基づく取組の推進</li> <li>●グリーン購入推進方針に基づく取組の推進</li> <li>●公用車における電気自動車の導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度環境配慮契約推進方針の推進</li> <li>平成25年度環境配慮契約推進方針の策定</li> <li>・平成24年度グリーン購入推進方針の推進</li> <li>平成25年度グリーン購入推進方針の策定</li> <li>・公用車1台導入（保有台数6台）</li> </ul>
普通ごみ収集事業 〔環：収集計画課〕	●収集車両の小型車化の推進	普通ごみ収集車の小型化を高津区・宮前区で実施

### 【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012年度実施状況
バリアフリーや環境に配慮した市バス車両の整備 〔交：運輸課〕	環境に配慮した低公害型バス市バス車両の導入など市バス車両を人と環境にやさしい車両に更新・導入する。	<input type="checkbox"/> バス車両導入車件数 <ul style="list-style-type: none"> <li>・バス車両の整備（車両導入7両）</li> <li>ハイステップバス（低公害型）：7両</li> <li>（うちハイリッドバス6両）</li> </ul>
上下水道事業の環境施策推進事務 〔上下水：調整担当〕	「CCかわさき」に基づく市の取組との整合を図りながら、二酸化炭素削減などの観点から施設の更新、低公害車の導入などを行い、環境に配慮した事業運営を進める。	局環境計画年次報告書（環境報告書）の作成（2013年2月）
車両管理事務 〔総：庁舎管理課〕	公用車の適正な管理を行うとともに、低公害・低燃費車の導入を進める。	事業推進

## Ⅱ-5 緑化の推進

行政自らが地域緑化の先導役として緑を増やす取組を進めました。

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012年度実施状況
安全で快適な教育環境整備事業 〔教：教育環境整備推進室〕	環境負荷の低減や自然環境との共生に対応した施設づくりの一環として、校庭の芝生化や学校校舎への壁面緑化用ネットの設置などを実施する。	上作延小学校（2012年2月）及び百合丘小学校（2012年7月）に建築された校舎の屋上に学級菜園が設置された
市民との協働による緑化推進事業 〔建：緑政課〕	屋上・壁面緑化への助成制度の運用や、緑の活動団体に対する支援により、緑の確保と同時に市民の緑化推進に向けた啓発を行う。	<input type="checkbox"/> 私有地の緑化事業としての助成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・奨励金支給</li> <li>特別緑地保全地区・緑の保全地域：74件</li> <li>緑地保全協定：124件</li> <li>保存樹林：30件</li> <li>保存生垣：50件</li> <li>保存樹木：249件</li> <li>まちの樹：28件</li> <li>・緑の活動団体への助成：173件</li> <li>・生垣緑化：3件</li> <li>・思い出記念樹：602件</li> </ul> <input type="checkbox"/> 地域緑化推進地区の認定数：14件 <input type="checkbox"/> 緑化協定締結数、緑地面積65件（-4）、緑地面積：155ha

## XII-6 環境に配慮した契約や物品調達等の推進

環境配慮契約推進方針やグリーン購入推進方針に基づく取組を進めるとともに、紙類の使用量削減など、環境配慮行動を推進しました。

事業名	2012年度計画	2012年度実績
エコオフィス推進事業 〔環：地球環境推進室〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境に配慮した電力入札の実施など、環境配慮契約推進方針に基づく取組の推進</li> <li>●グリーン購入推進方針に基づく取組の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度環境配慮契約推進方針の推進</li> <li>平成25年度環境配慮契約推進方針の策定</li> <li>・平成24年度グリーン購入推進方針の推進</li> <li>平成25年度グリーン購入推進方針の策定</li> </ul>

### 【関連事業】

事業名	実施計画期間内の事業内容	2012年度実施状況
低公害車普及促進事業 〔環：交通環境対策課〕	川崎市市内エコ運搬制度実施方針に基づく取組を進める。	川崎市市内エコ運搬制度実施方針に基づく市内での取組推進

## 指標の推移

施策課題	指標	計画策定時	現状	目標
XII-1	市の事業活動に伴う温室効果ガス排出量	390,778 トン・CO <sub>2</sub> (2008年度)	427,812 トン・CO <sub>2</sub> (2012年度)	2020年度までに2008年度比2割以上削減
	エネルギー使用量	96,459 キロリットル (2009年度)	95,500 キロリットル (2012年度)	—
XII-2	庁舎の再生可能エネルギー源導入量(太陽光・風力・小水力)	457kW(2008年度)	1,100kW(2012年度)	—
	グリーン電力証書(本庁舎等)	1,059,440kWh (2009年度累計)	2,631,590kWh (2012年度累計)	—
XII-3	エネルギーの使用に由来しない温室効果ガス排出量(廃棄物焼却、下水処理)	201,134 トン・CO <sub>2</sub> (2009年度)	228,036 トン・CO <sub>2</sub> (2012年度)	—
XII-4	公用車における低公害・低排出ガス車普及割合	公用車への九都県市指定低公害車の累計導入割合：70.8%(2009年度)	保有している公用車は1,589台で、そのうち1,365台が九都県市指定低公害車(2012年度)	—
	公用車の燃料使用量	6,786 キロリットル (2009年度)	7,191 キロリットル (2012年度)	—
XII-6	グリーン購入の実施状況	紙類の平均：97.4%、文具類の平均：98.8% (2009年度)	紙類の平均：98.1%、文具類の平均：92.5% (2012年度)	川崎市グリーン購入推進方針に定める調達目標を達成すること
	紙の使用量	140,730 千枚 (2009年度)	169,455 千枚 (2012年度)	—
	廃棄物排出量	紙くず：2,581トン、PETボトル：127トン、空き缶：167トン、空き瓶：72トン (2006年度)	紙くず：1,038トン、PETボトル：57トン、空き缶：107トン、空き瓶：59トン (2012年度)(*)	—
	廃棄物リサイクル率	紙くず：32%、PETボトル：90%、空き缶：96%、空き瓶：52% (2006年度)	紙くず：56%、PETボトル：85%、空き缶：93% (2012年度)(*)	—

\*計画策定時とは異なった集計方法を用いているため、指標の達成状況を評価する正確な数値ではなく参考として示しています。

## 第2章 電力需給対策について

### 1 対策の概要

東日本大震災の発生に伴う首都圏における極めて深刻な電力不足に的確に対応するため 2011 年度においては、川崎市電力不足対策基本方針等を策定し、市民・事業者・行政が一体となった取組を行うとともに、市役所は率先した節電行動を自ら実施しました。

2011 年度の取組を活かし、2012 年度においても市民・事業者・行政が一体となって、年間を通じて計画的な節電の取組を継続していくことで、首都圏における電力需給バランスの確保に寄与するとともに、エネルギー利用の合理化を促進し、地球温暖化対策に繋げていくことを目指し、「平成 24 年度川崎市電力需給対策基本方針」を策定しました。

また、夏期においては、国から夏の電力需給見通しなどが示され、「数値目標を伴わない節電」が要請されたことから、市役所で取り組む重点項目を明らかにし、取組を一層推進していくため、「夏期における市役所率先取組の推進について」を策定しました。

#### (1) 平成 24 年度川崎市電力需給対策基本方針

##### ① 取組期間

2012 年 4 月 1 日から 2013 年 3 月 31 日まで

##### ② 取組の基本的な考え方

- 市民・事業者・行政が一体となって取り組むとともに、節電意識を定着させ、無理なく節電を行う「スマートライフスタイル」を実践することで地球温暖化対策にも繋げる。
- 安定した市民生活を継続できるよう、事業活動を停滞させることのないよう対策を行う。
- 市民・事業者の取組に対して、市による普及啓発や支援策等により取組を促進する。
- 市役所は、大口の需要家として、電力需給対策を徹底し、率先した取組を行う。市民利用施設など市民に直接影響のある施設については、電力需給対策による影響を可能な限り回避するなど適切な対応を図る。
- 国の動向や今後の電力需給見通し等を踏まえ、電力使用制限令の発動など、対応が必要と認められる場合は、改めて取組の充実を図る。

##### ③ 市役所における率先した取組

市民生活に大きな影響が生じない施設の電気使用量を 2010 年度比で 15%以上削減

#### (2) 夏期における市役所率先取組の推進について

##### ① 重点取組期間

2012 年 7 月 2 日から 2012 年 9 月 28 日まで

##### ② 達成目標

2010 年度の使用最大電力の 15%以上の削減（重点取組期間内の平日 9 時～20 時）

## 2 取組結果の概要

### (1) 市民・事業者に対する主な取組

- 具体的な節電対策を記載したパンフレットの作成と配布など普及啓発の実施
- 創電力化・省電力化を推進するための各種支援策の実施
  - 住宅用太陽光発電設備設置補助事業（1,072件）
  - 住宅用太陽熱利用設備設置補助事業（16件）
  - 市内事業者エコ化支援事業（6件）

### (2) 市役所自らの取組

<2012年4月から2013年3月>

目標：市民生活に大きな影響のない施設の電気使用量を2010年度比で15%以上削減

施設種別	庁舎等	区役所等	参考（市施設全体）
4月	▲22.8%	▲22.9%	▲10.3%
5月	▲17.6%	▲21.8%	▲8.4%
6月	▲25.8%	▲24.7%	▲10.7%
7月	▲21.9%	▲24.8%	▲14.0%
8月	▲17.9%	▲20.7%	▲13.0%
9月	▲20.7%	▲22.9%	▲10.5%
10月	▲18.9%	▲24.0%	▲9.3%
11月	▲16.3%	▲18.7%	▲8.4%
12月	▲11.4%	▲9.2%	▲5.8%
1月	▲8.0%	▲11.6%	▲3.4%
2月	0.4%	▲15.5%	▲4.0%
3月	▲13.7%	▲23.1%	▲11.3%
平均	▲16.2%	▲20.0%	▲9.1%

※ 庁舎等は、本庁舎、第3庁舎、生活環境事業所などの施設です。

※ 区役所等は、各区役所、支所、行政サービスコーナーなどの施設です。

※ 市施設全体には、市民生活に影響のある施設（病院、上下水道施設など）を含んでいます。

※ 3月は2010年同月実績との比較です。

<2012年7月から9月>

目標：2010年度の使用最大電力の15%以上の削減（重点取組期間内の平日9時～20時）

施設種別	2012年7月	2012年8月	2012年9月	平均
大口施設 （契約電力500kW以上）	▲24.4%	▲23.9%	▲22.3%	▲23.5%
小口施設 （契約電力500kW未満）	▲23.1%	▲18.2%	▲13.6%	▲18.3%

※ 各数値は、制限緩和施設を含んだものです。

※ 大口施設は、ピーク電力の削減率、小口施設は、電気使用量の削減率





